#### 宇和島市建設工事簡易型総合評価落札方式試行要領

#### (趣旨)

第1条 この要領は、宇和島市が発注する建設業法(昭和24年法律第100号)第2条第1項に規定する建設工事(以下「工事」という。)について、簡易型総合評価落札方式により落札者を決定する競争入札(以下「簡易型総合評価競争入札」という。)を試行的に行うため、その事務取扱いに関し必要な事項を定めるものとする。

#### (定義)

- 第2条 この要領において「簡易型総合評価落札方式」とは、次条に定める工事についての請負の契約を締結しようとする場合において、地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の10の2の規定に基づき、価格その他の条件が、市にとって最も有利なものをもって申込みをした者を落札者とする方式をいう。
- 2 この要領において「簡易型総合評価落札方式(施工計画型)」とは、前項に定める簡易型総合評価 落札方式のうち、価格のほか、簡易な施工計画を含む技術提案や同種工事の施工実績等技術的要素 を総合的に評価する方式をいう。
- 3 この要領において「簡易型総合評価落札方式(実績確認型)」とは、前項において評価する条件の うち、簡易な施工計画を含む技術提案以外の項目をもって評価する方式をいう。
- 4 この要領において「簡易型総合評価落札方式(簡易実績型)」とは、前項において評価する条件の うち、技術者の同種工事の従事経験等技術的要素をもって評価する方式をいう。
- 5 この要領において、「施工体制確認方式」とは、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認(以下「施工体制確認」という。)し、設計図書等において求める要求要件を確実に実現できるかどうかを審査・評価する方式をいう。

#### (対象工事)

- 第3条 簡易型総合評価落札方式(施工計画型)は、次に掲げる工事を対象とした入札において実施 する。
- (1) 設計金額2億円以上の工事のうち、簡易型総合評価落札方式(施工計画型)により落札者を決定することが適当と認められる工事
- (2) その他簡易型総合評価落札方式(施工計画型)により落札者を決定することが適当と認められる工事
- 2 簡易型総合評価落札方式(実績確認型)は、次に掲げる工事を対象とした入札において実施する。
- (1)設計金額5千万円以上(建築一式にあっては同6千万円以上、その他(土木一式を除く。)にあっては同4千5百万円以上)の工事のうち、簡易型総合評価落札方式(実績確認型)により落札者を決定することが適当と認められる工事
- (2) その他簡易型総合評価落札方式(実績確認型)により落札者を決定することが適当と認められる工事
- 3 簡易型総合評価落札方式(簡易実績型)は、次に掲げる工事を対象とした入札において実施する。
- (1) 設計金額1千万円以上(建築一式にあっては同1千5百万円以上)の工事のうち、簡易型総合 評価落札方式(簡易実績型)により落札者を決定することが適当と認められる工事
- (2) その他簡易型総合評価落札方式(簡易実績型)により落札者を決定することが適当と認められる工事

#### (学識経験を有する者の意見聴取)

第4条 簡易型総合評価競争入札を実施するに当たり、当該入札の評価項目、総合評価の方法、落札

者の決定方法その他の落札者を決定するための基準(以下「落札者決定基準」という。)を定めようとするときは、次に掲げる事項について、あらかじめ、愛媛県建設工事総合評価審査委員、または特定非営利活動法人『愛媛県建設技術支援センター』技術評価委員(以下「委員」という。)2名以上の意見を聴かなければならない。

- (1) 落札者決定基準の適否に関すること。
- (2) 前号の落札者決定基準に基づいて落札者を決定しようとするときに 改めて意見を聴く必要性 に関すること。
- 2 前項第2号に係る意見聴取において、改めて意見を聴く必要があるとの意見が述べられた場合には、当該落札者を決定しようとするときに、落札者の決定の適否に関して、あらかじめ、委員2名以上の意見を聴かなければならない。
- 3 委員からの意見聴取等に関する事務については、契約担当課において処理する。

#### (評価区分及び評価項目等)

- 第5条 簡易型総合評価落札方式における評価区分は次に掲げるとおりとし、評価区分ごとの評価項目等は、簡易型総合評価落札方式(施工計画型)においては、別表1、別表1-1、別表1-2又は別表1-3を標準として、簡易型総合評価落札方式(実績確認型)においては、別表2、別表2-1、別表2-2又は別表2-3を標準として、簡易型総合評価落札方式(簡易実績型)においては、別表3、別表3-1、別表3-2又は別表3-3を標準として、入札ごとに定める。ただし、選択項目については、工事目的、工事内容、施工条件等から、必要に応じて評価項目を選択し、又は配点を変更できるものとする。
  - (1) 施工計画について
  - (2)企業の施工能力について
  - (3)配置予定技術者について
  - (4) 技術力の継続的な確保について
  - (5) 地理的要件
  - (6) 地域貢献度
- 2 前項に定めるもののほか、施工体制確認方式における評価項目等は、次に掲げる2つの事項を施工体制確認に係る評価項目(以下「施工体制確認項目」という。)とする。
  - (1) 品質確保の実効性
  - (2) 施工体制確保の確実性

#### (総合評価の方法)

第6条 本要領における総合評価は、次の算式により導き出された数値(以下「評価値」という。)を もって行う。なお、評価値の計算において入札価格の単位は億円とし、求められる評価値は小数第 5位以下を切り捨て小数第4位止めとする。

評価値={基礎点(80点)+施工体制確認点+加算点}/入札価格(単位:億円)

- 2 前項の基礎点については、入札参加資格を満たす場合に80点を与える。
- 3 第1項に規定する施工体制確認点は、施工体制確認項目毎に宇和島市建設工事簡易型総合評価落札方式における施工体制確認方式手続要領(令和3年7月1日制定。以下「施工体制確認方式手続要領」という。)第3条の資料、第4条の事情聴取及び工事費内訳書等をもとに審査を行い、設計図書等において求める要求要件を実現できると認められる場合には、その確実性の高さに応じて、満点を10点とし、3段階(優10点/良5点/可0点)で評価を行い、それらの得点の合計とする。
- 4 第1項に規定する加算点は、次の各号に掲げる算式により導き出された数値とする。なお、求め

られる加算点は評価区分ごとに小数第5位以下を切り捨て小数第4位止めとする。

(1) 簡易型総合評価落札方式(施工計画型)の場合 加算点=(入札参加者の施工計画の得点合計

/施工計画の配点合計)×10点

- + (入札参加者の企業の施工能力の得点合計
  - /企業の施工能力の配点合計) ×3点
- + (入札参加者の配置予定技術者の得点合計
  - /配置予定技術者の配点合計)×2.5点
- + (入札参加者の技術力の継続的な確保の得点合計 /技術力の継続的な確保の配点合計) ×1.5点
- + (入札参加者の地理的要件の得点合計
  - /地理的要件の配点合計)×1.0点
- + (入札参加者の地域貢献度の得点合計

/地域貢献度の配点合計) ×2点

(2) 簡易型総合評価落札方式(実績確認型)の場合 加算点=(入札参加者の企業の施工能力の得点合計

/企業の施工能力の配点合計)×2.5点

- + (入札参加者の配置予定技術者の得点合計
  - /配置予定技術者の配点合計)×2.5点
- + (入札参加者の技術力の継続的な確保の得点合計 /技術力の継続的な確保の配点合計) ×1.5点
- + (入札参加者の地理的要件の得点合計

/地理的要件の配点合計)×1.5点

+ (入札参加者の地域貢献度の得点合計

/地域貢献度の配点合計) ×2点

(3) 簡易型総合評価落札方式(簡易実績型)の場合 加算点=(入札参加者が自ら評価した各評価項目の得点合計 /各評価項目の配点合計)×10点

(入札を行うに当たり周知する事項等)

- 第7条 簡易型総合評価競争入札を実施する場合は、別に定めるもののほか、下記の事項をあらかじ め周知しなければならない。
  - (1) 簡易型総合評価競争入札を実施する旨
  - (2) 当該簡易型総合評価競争入札に係る落札者決定基準
  - (3) 次条に定める簡易型総合評価落札方式に係る資料(以下「総合評価に係る資料」という。)の 提出を求める旨、その提出期日等
  - (4) その他必要と認める事項

(総合評価及び施工体制確認に係る資料の提出等)

第8条 入札参加者は、前条第3号の提出期日までに、総合評価及び施工体制確認に係る資料について、簡易型総合評価落札方式(施工計画型)にあっては、別添様式1から様式8までにより、簡易型総合評価落札方式(実績確認型)にあっては、様式8から様式9、様式9-1、様式9-2又は様式9-3(様式9、様式9-1、様式9-2又は様式9-3については、入札参加者が自己採点したもの)までにより、簡易型総合評価落札方式(簡易実績型)にあっては、別添様式8及び様式10、様式10-1、様式10-2又は様式10-3に

- ついては、入札参加者が自己採点したもの)により提出しなければならない。なお、提出された資料は、返却しない。
- 2 前項の規定により提出された資料のうち、様式1、様式2又は様式3の内容を確認する必要がある場合は、当該入札参加者に対し、事情聴取を実施することがある。
- 3 予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札をした者について、宇和島市低入札価格調査制度実施要領(平成22年告示第9号)に規定する低入札者(以下「低入札者」という。)となった者は、前項に規定する資料に加え、施工体制確認方式手続要領第3条に定める資料を提出しなければならない。
- 4 総合評価に係る資料を提出しない者の行った入札は、無効とする。
- 5 提出された総合評価に係る資料の訂正及び差し替えは認めない。
- 6 提出された総合評価に係る資料の内容が虚偽又は不誠実であることが明らかとなった場合は、宇和島市建設工事等入札参加資格停止措置要綱(平成17年告示第97号)の規定に基づき、入札参加資格停止を行うことがある。
- 7 入札参加者が総合評価に係る資料の作成に要した一切の費用は、入札参加者の負担とする。

#### (評価値の疑義照会)

- 第9条 簡易型総合評価落札方式(施工計画型)の評価値については、採点後(施工計画型は施工計画得点以外)、速やかに別添評価値算出表により入札情報公開システムに掲載して公表するものとし、入札参加者は、公表された日から起算して2日(宇和島市の休日を定める条例(平成17年条例第2号)に規定する休日を含まない。)以内に前条に規定した資料に基づく自らの評価点(施工体制確認及び施工計画の項目を除く。)について、別添様式11により疑義照会ができるものとする。
- 2 前項の疑義照会に対し、回答が必要な場合は、別添様式12により速やかに回答するものとし、評価値を修正した場合は、修正した評価値算出表を再度公表し、前項に規定した疑義照会の期間を設けるものとする。

#### (落札者の決定方法)

- 第 10 条 簡易型総合評価落札方式により落札者を決定しようとするときは、入札価格が予定価格の制限の範囲内である者のうち、評価値の最も高い者を落札者とする。
- 2 評価値の最も高い者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がされないこととなるおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあって著しく不適当であると認められるときは、前項の規定にかかわらず、その者を落札者とせず、入札価格が予定価格の制限の範囲内である他の者のうち、評価値の最も高い者を落札者とすることがある。
- 3 評価値の最も高い者が2者以上いる場合は、当該者にくじを引かせて、落札候補者として審査を 行う順位を決定し、審査の結果、落札者を決定するものとする。

#### (適正な履行の確保)

- 第 11 条 簡易型総合評価落札方式において、総合評価に係る資料として提出された施工計画の適正な履行を確保するため、当該計画の内容と同等以上の施工をしなかったと認められる場合又は、加点評価のあった評価項目のうち、次に掲げる項目に該当する場合は、当該工事の工事成績評定点を減点する。
  - (1) 使用するものとしていた主作業船及び建設機械(掘削系建設機械及びダンプトラック(最大 積載量2t以上)を除く。)を使用しなかった場合
  - (2)配置することとしていた30歳未満又は35歳未満の若手技術者等(担当技術者又は現場代理人)を配置できなくなった場合

(3)全ての下請を市内業者とする施工(市内業者が元請として自社施工する場合を含む)を計画 していたが実施できなくなった場合(対象外と指定した工種を除く)

(評価結果の公表)

第 12 条 簡易型総合評価競争入札を実施したときは、契約締結後、別添入札結果一覧表及び評価値 算出表により、入札者ごとの入札価格及び評価値を公表するとともに、別表1、別表1-1、別表 1-2若しくは別表1-3、別表2、別表2-1、別表2-2若しくは別表2-3又は別表3、別 表3-1、別表3-2若しくは別表3-3を標準として、入札ごとに定めた評価項目等により、簡 易型総合評価競争入札を実施した理由及び落札者決定基準等を公表するものとする。

(非落札理由に関する苦情申立て処理)

第 13 条 簡易型総合評価競争入札の非落札理由に関する苦情の申立てがあったときは、申立者に対し適切にその理由を説明することとし、更に苦情のある者に対しては、宇和島市入札監視委員会による審議の結果を踏まえて回答することとする。

(その他)

第 14 条 この要領に定めるもののほか、簡易型総合評価競争入札の実施に関し必要な事項は、別に 定める。

附則

この要領は、平成19年10月1日から施行する。

附則

この要領は、令和3年7月1日から施行する。

附則

この要領は、令和5年6月19日から施行する。

附則

この要領は、令和6年6月7日から施行する。

附則

この要領は、令和7年6月10日から施行する。

#### 【土木一式工事(平時)の場合】

### 評 価 項 目 等 (施工計画型)

(1)施工計画について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
選			施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、工夫が見られる。	21~30	
坦	施工上配慮すべき事項	施工上配慮すべき事項の適切性	施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、やや工夫が見られる。	11~20	
37.0			施工上の配慮について工事の条件等を踏まえており適切である。	0~10	
252	工程管理に係る技術的		工事の実施手順が適切で、工期が大幅に短縮される。	21~30	
	所見		工事の実施手順が適切で、工期がやや短縮される。	11~20	
37.0	加元		工事の実施手順が適切で、各工種の期間設定が適切である。	0~10	
			品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)	21~30	
			を踏まえて適切であり、工夫が見られる。	211-30	
選	品質管理に係る技術的	コンクリート、鋼材溶接部等の品質の確認	品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)	11~20	
択	所見	方法、管理方法の適切性	を踏まえて適切であり、やや工夫が見られる。	111-20	
			品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)	0~10	
			を踏まえており適切である。	0.310	

(2)企業の施工能力について

	(2)正未の心工能力に				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
選	同種・類似工事の施工		同種工事の実績あり	10	
	実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
אני	入心		上記以外	0	
			80点以上	20	
		過去3か年度の工事成績評定平均点	79点	18	
必	工事成績評定点		78点	16	
須			77点	14	
冱			76点	12	
			75点	10	
			75点未満	0	
必		土木一式工事における過去5か年度の優良	2回以上の知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	10	
須	優良工事表彰歴	エネー式工事における過去さが年度の後段  工事表彰歴	知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	5	
冱	<b>上争衣</b>		表彰なし	0	

※1「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。

(3)配置予定技術者について

_	(3) 配直ア足技術有い				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
			主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
292	同様・新州工事の従事	  過去15年間の主任(監理)技術者及び現場	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
		代理人としての同種・類似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
אני	小王·司大		現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
			上記以外	0	
	主任(監理)技術者の	保有する資格の有無	監理技術者になれる資格 (実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
択	保有する資格	体 H 5 心 具 旧 〇 H 灬	上記以外	0	
			100ユニット以上	5	
			80ユニット以上100ユニット未満	4	
	継続学習(CPD)の	CPDの取得単位数	60ユニット以上80ユニット未満	3	
須	取組み	ひ ア D の	40ユニット以上60ユニット未満	2	
			20ユニット以上40ユニット未満	1	
	1		20ユニット未満	0	

※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

	(4)技術刀の継続的な	よ惟休にづいて	_		
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
			市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし	0	
		(主作業船を用いる海上工事の場合)	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該	10	
選	設備等施工体制	所有する主作業船の有無又は使用	工事で使用	10	
択	<b>议佣守加工</b> 体制	が行うる工作来船の行無人は反抗	上記以外	0	
			掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量2t以上)を所有	5	
		掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載 量2t以上)の所有の有無	掘削系建設機械を所有	3	
			上記以外	0	
必	災害時の事業継続力		四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会の認定あり	5	
須	火合吋の手未松杭刀		認定なし	0	
55*			全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内	5	
进	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	業者で工事の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	э	
170			上記以外	0	
			30歳未満を担当技術者として配置	5	
.51			35歳未満を担当技術者として配置	4	
必須	若手技術者等の育成	若手技術者等(35歳未満)の現場への配置	30歳未満を現場代理人として配置	2	
須			35歳未満を現場代理人として配置	1	
			上記以外	0	

※1「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。

/ = \ 1/LTE 45 == //L

対象外工種

	(5)地理的要件				
Г	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
Г			旧市町内に本店あり	15	
	必 本・支店、営業所の有	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に本店あり	10	1
3	須 │無	市内に支店、営業所あり	市内に支店、営業所あり	5	l l
			F = 그 U A	Λ	i l

(6) 地域貢献度

	(0) 地域貝酰及		_		
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
必	災害対応等の実績 過去2か年度の災害ボランティア活動の実 績	災害ボランティア活動の実績あり	10		
須	<b>火百列心中00天</b> 粮	績	上記以外	0	
ıίλ	地域貢献活動への参加		5回以上の参加実績あり	5	
	実績 過去2か年度の地域貢献活動への参加	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3	
人		項	参加実績なし	0	

【土木一式工事以外(平時)の場合】

### . 評 価 項 目 等 (施工計画型)

(1) 施工計画について

	(1) 心工川田に 20				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
:42			施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、工夫が見られる。	21~30	
選択	施工上配慮すべき事項	施工上配慮すべき事項の適切性	施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、やや工夫が見られる。	11~20	
1)(			施工上の配慮について工事の条件等を踏まえており適切である。	0~10	
192	T和英理/- 反 Z 技术的		工事の実施手順が適切で、工期が大幅に短縮される。	21~30	
坦	所見		工事の実施手順が適切で、工期がやや短縮される。	11~20	
77(	別兄		工事の実施手順が適切で、各工種の期間設定が適切である。	0~10	
			品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性	21~30	
			等)を踏まえて適切であり、工夫が見られる。	21~30	
選	品質管理に係る技術的	コンクリート、鋼材溶接部等の品質の確認	品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性	11~20	
択	所見	方法、管理方法の適切性	等)を踏まえて適切であり、やや工夫が見られる。	11~20	
			品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性	010	
			等)を踏まえており適切である。	0~10	

(2)企業の施工能力について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
:92	同種・類似工事の施工		同種工事の実績あり	10	
	実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
1)(	大阪		上記以外	0	
			80点以上	20	
			79点	18	
:92			78点	16	
選択	工事成績評定点	過去6か年度の工事成績評定平均点	77点	14	
אני			76点	12	
			75点	10	
			75点未満	0	

	(3)配直予定技術者	こういて	<u> </u>		
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
			主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
192	日孫・叛似て東の従事	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	ı
坦	経験	週云10年間の土仕(塩珪)技術有及の現場	現場代理人として同種工事の従事経験あり 現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	ı
700	小主 羽大		現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
			上記以外	0	j
選	主任 (監理) 技術者の 保有する資格	<b>保有する資格の有無</b>	監理技術者になれる資格 (実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
択	保有する資格	MAY ORILO AM	上記以外	0	
			100ユニット以上	5	
			80ユニット以上100ユニット未満	4	ı
必	継続学習(CPD)の 取組み	CDDの取得単位数	60ユニット以上80ユニット未満	3	ı
須	取組み	C F D D 取 符 单 位 数	40ユニット以上60ユニット未満	2	
			20ユニット以上40ユニット未満	1	ı
			20ユニット未満	0	į .

| 20ユニット未満 | ※1「同種・類似工事の従事経験」では、上記(2)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。 | ※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

(4)技術力の継続的な確保について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
		(銅橋・PC橋・水門観門工事等で工場製作を伴う場合)	市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし	0	
			当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当 該工事で使用	10	
		が有する工作未加の有無人は区が	上記以外	0	
		(法面工事主要機械を用いる法面工事の場合)	所有する法面工事主要機械を当該工事で使用	5	
		所有する法面工事主要機械の使用	上記以外	0	
選			アスファルトブラントが市内にありかつ所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	15	
択	設備等施工体制	アスファルトプラントの有無及び所有する アスファルトフィニッシャの使用	アスファルトプラントが市内にあり	10	
			所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	5	
			上記以外	0	
			アスファルトプラントが市内にあり	10	
			上記以外	0	
			所有する解体用重機を当該工事で使用	5	
		所有する解体用重機の使用	上記以外	0	
選切	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市 内業者で工事の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
100			上記以外	0	
1			30歳未満を担当技術者として配置	5	
ıΝ			35歳未満を担当技術者として配置	4	
須	若手技術者等の育成	若手技術者等(35歳未満)の現場への配置		2	
"			35歳未満を現場代理人として配置	1	
			上記以外	0	

※1「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。 対象外工種

(5) 地理的要件

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
ıλ	木・支庁 営業所の有		市内に本店あり	10	
必須	平・文冶、古木川の円	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に支店、営業所あり	5	
决	All I		上記以外	0	

		(0)地域貝的皮				
		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
	選		(工程が建築一式、舗装又は管の場合) 過去2か年度の災害ボランティア活動の実	災害ボランティア活動の実績あり	10	
	択	災害対応等の実績	横	上記以外	0	
ſ	心	地域貢献活動への参加		5回以上の参加実績あり	5	
	須	<ul><li>地域貢献活動への参加 直 実績</li><li>過去2か年度の地域貢献活動への参加実績</li></ul>	5回未満の参加実績あり	3		
	/500			参加字結なし	0	

※ 本表は、土木一式以外(平時)の工事に係る標準的な様式であり、評価内容及び評価基準については、案件に応じて変更する場合がある。

#### 【土木一式工事(激甚災害相当時)の場合】

#### 評 価 項 目 等 (施工計画型)

	(1) 施工計画につい	C .			
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
襈			施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、工夫が見られる。	21~30	
選択	施工上配慮すべき事項	施工上配慮すべき事項の適切性	施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、やや工夫が見られる。	11~20	
אע			施工上の配慮について工事の条件等を踏まえており適切である。	0~10	
:42	工程管理に係る技術的		工事の実施手順が適切で、工期が大幅に短縮される。	21~30	
	工程 目 垤 に 床 る 技 刑 的 所見	工事の実施手順及び工期設定の妥当性	工事の実施手順が適切で、工期がやや短縮される。	11~20	
אני	別兄		工事の実施手順が適切で、各工種の期間設定が適切である。	0~10	
			品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性	21~30	
			等)を踏まえて適切であり、工夫が見られる。	21 - 50	
選	品質管理に係る技術的	コンクリート、鋼材溶接部等の品質の確認	品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性	11~20	
択	所見	方法、管理方法の適切性	等)を踏まえて適切であり、やや工夫が見られる。	11~20	
			品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性	0~10	
			等)を踏まえており適切である。	0~10	

(2)企業の施工能力について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
<b>見廷 松川工市のサエ</b>		同種工事の実績あり	10	
中待 規以工事の応工	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
大根		上記以外	0	
		80点以上	20	
工事成績評定点 過去3か年度の工事成績評定平均点		79点	18	
		78点	16	
	過去3か年度の工事成績評定平均点	77点	14	
		76点	12	
		75点	10	
		75点未満	0	
	ナナーオー東にセルス海土をか年度の原白	2回以上の知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	10	
優良工事表彰歴		知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	5	
<b>△</b>	表彰なし	0		
-	司種・類似工事の施工 実績 工事成績評定点 憂良工事表彰歴	司種・類似工事の施工 実績  正事成績評定点  過去3か年度の工事成績評定平均点	同種・類似工事の施工 実績 過去15年間の同種・類似工事の施工実績 <u>類似工事の実績あり</u> <u>類似工事の実績あり</u> 上記以外 80点以上 79点 70点 77点 70点 77点 76点 75点 75点 75点 75点 75点 75点 75点 75	同種・類似工事の施工 素積

| 表彰なし | ※1 「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。 | 回種工事 | 類似工事 | ※2 「同種・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(3)配置予定技術者について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
		主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10		
:42	日廷・類似て東の従東		主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
		代理人としての同種・類似工事の従事経験		4	
אני	中工可大		現場代理人として類似工事の使事詮験あり	2	
			上記以外	0	
選	主任(監理)技術者の	保有する資格の有無	監理技術者になれる資格 (実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
九	保有する資格		上記以外	0	
			100ユニット以上	5	
			80ユニット以上100ユニット未満	4	
必	継続学習(CPD)の	CPDの取得単位物	60ユニット以上80ユニット未満	3	
須	継続学習(CPD)の 取組み CPDの取得単位数	0 F D 0 以 同手 位 数	40ユニット以上60ユニット未満	2	
			20ユニット以上40ユニット未満	1	
			20ユニット未満	0	

| 1014-97 不一門 | 1024-97 下一門 | 1024-97 下 | 10

(4)技術力の継続的な確保について

_	(4) 技術力の継続的/				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
			市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし	0	
選	設備等施工体制	(主作業船を用いる海上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当 該工事で使用	10	
択	改 佣 寺 旭 工 14 利	1717年 1011年 1011年 1111日 1111日 1111日 1111日 1111日 1111日 1111日 1111日 1111日 111日 111日 111日 111日 111日 111日 111日 11日 11	上記以外	0	
			掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量2t以上)を所有	5	
			掘削系建設機械を所有	3	
		量2t以上)の所有の有無	上記以外	0	
必	災害時の事業継続力		四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会の認定あり	5	
須	<b>火日時の事未極続力</b>	火台时00字米柜机引回(BCF)07站足00有点	認定なし	0	
選	市内下請業者の活用		全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市 内業者で工事の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
70			上記以外	0	
			30歳未満を担当技術者として配置	5	
,iX			35歳未満を担当技術者として配置	4	
必須	若手技術者等の育成	若手技術者等(35歳未満)の現場への配置	30歳未満を現場代理人として配置	2	
坝			35歳未満を現場代理人として配置	1	
			上記以外	0	
397.4	C+++*	は、カロ根ばる土種に関する工味業をは対象がしっ	L 7		

※1 「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。

	(5) 地理的要件				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
Γ			旧市町内に本店あり	15	
1	必 本・支店、営業所の有	市内での本・支店、営業所の所任の有無	市内に本店あり	10	İ
	須 無		市内に支店、営業所あり	5	İ
1	1		上記以外	0	1

(6) 地域音献度

_	(6) 地域貝徹及				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
必		過土 もた床の※字が字等に甘べ/た色計	次の①、②いずれも実績あり   ① 応急対策業務   ② 災害ボランティア活動の実績	10	
須		生業改みが巛宝ギニヽニュマ活動の中値	次の()、 (	5	
			上記以外	0	
ıλ	地域言献活動への参加		5回以上の参加実績あり	5	
酒	宇结	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3	
250	X 194		参加実績なし	0	
	(工程が一般土木の場合)		10件以上の契約実績あり	15	
必	災害の復旧工事の契約	過去 か年度の災害の復旧工事の契約実績	5件以上の契約実績あり	10	
	実績	過去 が年度の炎音の後旧工事の失利失根	2件以上の契約実績あり	5	
	天視		上記以外	0	

※1「災害対応等の実績」及び「災害の復旧工事の契約実績」の評価対象期間は、宇和島市の被災規模に応じて設定する。

※ 本表は、土木一式工事 (業甚災害相当時) に係る標準的な様式であり、評価内容及び評価基準については、案件に応じて変更する場合がある。

#### 【土木一式工事以外(激甚災害相当時)の場合】

### 評価項目等(施工計画型)

(1) 株工製画について

	(1) 施工計画につい	(			
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
選			施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、工夫が見られる。	21~30	
坦	施工上配慮すべき事項	施工上配慮すべき事項の適切性	施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、やや工夫が見られる。	11~20	
1)(			施工上の配慮について工事の条件等を踏まえており適切である。	0~10	
:92	て担無理に係るは後的		工事の実施手順が適切で、工期が大幅に短縮される。	21~30	
坦	所見	工事の実施手順及び工期設定の妥当性	工事の実施手順が適切で、工期がやや短縮される。	11~20	
1)(	. M 5c		工事の実施手順が適切で、各工種の期間設定が適切である。	0~10	
			品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性	21~30	
			等)を踏まえて適切であり、工夫が見られる。	21.430	
選	品質管理に係る技術的		品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性	11~20	
択	所見	方法、管理方法の適切性	等)を踏まえて適切であり、やや工夫が見られる。	111-420	
			品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性	0~10	
			等)を踏まえており適切である。	0.510	

(2)企業の施工能力について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
;gp	同種・類似工事の施工		同種工事の実績あり	10	
	実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
1)(	<b>大小</b> 兒		上記以外	0	
			80点以上	20	
			79点	18	
:92			78点	16	
選択	工事成績評定点	過去6か年度の工事成績評定平均点	77点	14	
3/4			76点	12	
			75点	10	
			75点未満	0	

(3)配置予定技術者について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
			主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
192	日孫・叛似て東の従事	温土15年間の主は(駐頭)は歩きなが現場	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
坦	内性・規以工事の化争	週云10年間の土仕(塩柱)技術有及の現場    伊押人としての同様・箱似て事の従事経験	土住 (監理) 技術者として親収工事の従事経験あり 現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
אני	小王·利大	に生べこしての同様 規格工事の促事性級	現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
			上記以外	0	
選	主任 (監理) 技術者の 保有する資格	四十十7次40十年	監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資	5	
択	保有する資格	体有する資格の有無	格を除く。) 上記以外	^	
-				0	
			100ユニット以上	5	
			80ユニット以上100ユニット未満	4	
必	継続学習(CPD)の 取組み	CPDの取得単位数	60ユニット以上80ユニット未満	3	
須	取組み	0 下 0 0 以 同 平 位 数	40ユニット以上60ユニット未満	2	
			20ユニット以上40ユニット未満	1	
		35 1.82	20ユニット未満	0	

(4)技術力の継続的な確保について

	(4)技術力の継続的 評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
	111111111111111111111111111111111111111		市内にあり	10	19711
		製作工場の有無	市内になし	0	
			当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当 該工事で使用	10	
		が有する工作来船の有無人は使用	上記以外	0	
		(法面工事主要機械を用いる法面工事の場合)	所有する法面工事主要機械を当該工事で使用	5	
		所有する法面工事主要機械の使用	上記以外	0	
選	=0 to 00 to - 11 to 1		アスファルトブラントが市内にありかつ所有するアスファルトフィニッ シャを当該工事で使用	15	
択	設備等施工体制	アスファルトプラントの有無及び所有する アスファルトフィニッシャの使用	アスファルトプラントが市内にあり	10	
	-		所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	5	
			上記以外	0	
			アスファルトプラントが市内にあり	10	
			上記以外	0	
			所有する解体用重機を当該工事で使用	5	
		所有する解体用重機の使用	上記以外	0	
選切	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市 内業者で工事の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
770			上記以外	0	
1			30歳未満を担当技術者として配置	5	
ıΣ			35歳未満を担当技術者として配置	4	
須	若手技術者等の育成	若手技術者等(35歳未満)の現場への配置		2	
			35歳未満を現場代理人として配置	1	
			上記以外	0	

※1「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。

(5) 地理的要件

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
必	本・支店、営業所の有		市内に本店あり	10	
須		市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に支店、営業所あり	5	
254	7NC		上記以外	0	

(6)地域貢献度

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
選		(工種が建築一式、舗装又は管の場合)	次の①、②いずれも実績あり   ① 応急対策業務   ② 災害ボランティア活動の実績	10	
	巛宝対応等の宝績   適去 か年度の災害協定寺に基づく応急対	次の①、②いずれかの実績あり   ① 応急対策業務   ② 災害ボランティア活動の実績	5		
			上記以外	0	
ıίλ	地域言数活動への参加		5回以上の参加実績あり	5	
酒	実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3	
决	大根		参加実績なし	0	

| 1974|| ※ 1 「災害対応等の実績」の評価対象期間は、宇和島市の被災規模に応じて設定する。

【土木一式工事(平時)の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者領で入札書の金額に訂正させていただきます。) 入利・金額 (税抜、単位:円) ←税抜、円単位で記載

工事名
商号又は名称

#### 評 価 項 目 等 (実績確認型)

#### ※入札者は評価基準に該当する得点を入札者記載欄に記載してください。

(1) 企業の施工能力について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
選			同種工事の実績あり	10	
捉	同種・類似工事の施工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
ν.			上記以外	0	
			80点以上	20	
	工事成績評定点 過去3か年度の工事成績評定点		78点以上80点未满	18	
az.			76点以上78点未满	16	
必須		74点以上76点未满	14		
~~		72点以上74点未满	12		
			70点以上72点未满	10	
			70点未満	0	
ıλ		土木一式工事における過去5か年度の優良工事表彰	2回以上の知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	10	
須		正木一式工事における過去5か年度の後長工事衣影 歴	知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	5	
~~	1		表彰なし	0	

同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。

共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない

(2) 配置予定技術者について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
			主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
200		過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代理人と	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
択	同種・類似工事の従事経験	地太15年间の主任(監理)技術省及び現場代理人と しての同種・類似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
D.		O COPPLE MALTONATION	現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
		上記以外	0		
盗	主任 (監理) 技術者の保有する		監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
扣	主任 (監理) 技術者の保有する 資格	保有する資格の有無	主任技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	3	
	Se in		上記以外	0	
			100ユニット以上	5	
			80ユニット以上100ユニット未満	4	
必	継続学習(CPD)の取組み	CPDの取得単位数	60ユニット以上80ユニット未満	3	
須	施が子首 (CPD) の取組の	CFDの軟件手位数	40ユニット以上60ユニット未満	2	
			20ユニット以上40ユニット未満	1	
1			20ユニット未満	0	

<sup>※1 「</sup>同種・類似工事の従事経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。 ※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加責格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

_	(3)技術力の継続的な確保に	JIV C	·		
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
			市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし	0	
選		(生作業能を用いる海上工事の場合)	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用	10	
択	設備等施工体制	所有する主作業船の有無又は使用	上記以外	0	
υV			掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量2t以上)を所有	5	
		掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量2t以上) の所有の有無	掘削系建設機械を所有	3	
			上記以外	0	
必	災害時の事業継続力 災害時の事業継続計画(BCP)の認定の有無	※実味の東帯線線計画(BCD)の物字の方無	四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会の認定あり	5	
須		火音時の事業総統計画(BCF)の認定の有無	認定なし	0	
選切	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事 の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
D(			上記以外	0	
			30歳未満を担当技術者として配置	5	
必			35歳未満を担当技術者として配置	4	
須	若手技術者等の育成	若手技術者等 (35歳未満) の現場への配置	30歳未満を現場代理人として配置	2	
24			35歳未満を現場代理人として配置	1	
l			上記以外	0	

( a ) th tm Ah m th

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
	本・支店、営業所の有無市内での本・支店、営業所の所在の有		旧市町内に本店あり	15	
必			市内に本店あり	10	
須		川内での本・文店、呂米川の別社の有無	市内に支店、営業所あり	5	
			上記以外	0	

(5) 地域貢献度

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
必	及 質 災害対応等の実績 過去2か年度の災害ポランティア活動の実績	生の中体 塩土のかケ中の巛中ボニンニ・フェ動の中体	災害ボランティア活動の実績あり	10	
須		<u>地云とか年度の火音</u> ホランティア活動の美積	上記以外	0	
ďλ			5回以上の参加実績あり	5	
(酒	地域貢献活動への参加実績 過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3	
須			参加実績なし	0	1

※(発注者記載) 各評価項目の配点合計(A) (上記各評価項目満点の合計)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認願います。

各評価項目の得点合計 (B) (上配各評価項目の得点合計)

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

加算点 (小教第5位以下を切り拾て小教第4位止め) (D) (以下の計算式により算出) 

評価値(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め) (以下の計算式により算出)

評価値 (自動計算)	

【土木一式工事以外 (平時) の場合】

※ (本本・大・エキ・ジャ・(十年) (ジョウ) ※ 入札・吉は、入札・金館(光技、単位: 円) を配載してください。 (ただし、入札書の金種と第う場合は、発注者領で入札書の金額に訂正させていただきます。) 入札金額 (投放、単位:円) ←税抜、円単位で記載 工事名

# 評価項目等 (実績確認型) ※入札者は評価基準に映当する得点を入札者配敷欄に配敷してください。

(1)企業の施工能力について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
3			同種工事の実績あり	10	
#	同種・類似工事の施工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
- 1			上記以外	0	
	- 工事成績評定点 過去6か年度の工事成績評定点	80点以上	20		
			78点以上80点未满	18	
25			76点以上78点未满	16	i
#		過去6か年度の工事成績評定点	74点以上76点未满	14	
"			72点以上74点未满	12	
		70点以上72点未满	10		
L			70点未満	0	

※1 「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。

※1 「同様・類似工事の施工業績」では、次に利する上参に独当するものを評価する。 同様工事 契似工事 ※2 「同様・類似工事の施工業績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工業績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工業績に含まない。

(2) 配置予定技術者について

		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
				主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
3	55		②土15年間の土が(欧理)技術学及が環境が理したしての回程・新州工事の分	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
#	元 同科	重・類似工事の従事経験	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代理人としての同種・類似工事の従 事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
"	``		7.12.00	現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
				上記以外	0	
-	66 a. r-	7 (PM) + 44 + 0 /2 + + 7		監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
#	大 資格	主任 (監理) 技術者の保有する 姿体	保有する資格の有無	主任技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	3	
- 1"	/ Je 11	DC-18		上記以外	0	
				100ユニット以上	5	
				80ユニット以上100ユニット未満	4	
ú	E	*常期 (CDD) の取組む	CPDの取得単位数	60ユニット以上80ユニット未満	3	
3	真性的	継続学習(CPD)の取組み CPDの取得単位数	CPDの取得单位数	40ユニット以上60ユニット未満	2	
				20ユニット以上40ユニット未満	1	
				20ユニット未満	0	

※1 「同種・類似工事の従事経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。 ※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成長としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

	(3) 技術力の継続的な健保に、	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
		(振装・PO装・水門銀門工事等で工場製作を伴う場合)	市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし	0	
		(全作業級を用いる海上工事の場合)	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用	10	
		所有する主作業船の有無又は使用	上記以外	0	
		(後間工事主要機能を用いる後間工事の場合)	所有する法面工事主要機械を当該工事で使用	5	
		所有する法面工事主要機械の使用	上記以外	0	
選	設備等施工体制		アスファルトプラントが市内にありかつ所有するアスファルトフィニッシャを当該工事 で使用	15	
択	EX 86 47 05 22 17 07	「マルエトト等」 (アスファル・増加工金の番曲) アスファルトブラントの有無及び所有するアスファルトフィニッシャの使用 (アスファル・ガラントの有無及でアスファルトフィニッシャを使用しない場合) アスファルトブラントの有無 (工態が発水の場合) 所有する解外用重視の使用	アスファルトプラントが市内にあり	10	
			所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	5	
			上記以外	0	
			アスファルトプラントが市内にあり	10	
			上記以外	0	
			所有する解体用重機を当該工事で使用	5	
			上記以外	0	
選択	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者 (二次以下を含む) が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の 全てを自ら施工する (対象外工種の下請業者は除く)	5	
			上記以外	0	
1	·		30歳未満を担当技術者として配置	5	
eix.			35歳未満を担当技術者として配置	4	
須	若手技術者等の育成	若手技術者等 (35歳未満) の現場への配置	30歳未満を現場代理人として配置	2	
			35歳未満を現場代理人として配置	1	
1			上記以外	0	

※1「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。 対象外工種

(4) 地理的要件

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
			市内に本店あり	10	
2	本・支店、営業所の有無	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に支店、営業所あり	5	
"			上記以外	0	1

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
ſ	選		災害ボランティア活動の実績あり	10	
	択災害対応等の実績	過去2か年度の災害ボランティア活動の実績	上記以外	0	
Г	a		5回以上の参加実績あり	5	
	必 地域貢献活動への参加実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3	
			参加事績なし	0	

※(発注者記載) 各評価項目の配点合計(A) (上記各評価項目満点の合計)

配点合計 (発注者記載欄)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認願います。

各評価項目の得点合計 (B) (上配各評価項目の得点合計)

得点合計 (自動計算

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

入札価格 (自動計算

加算点(小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (D) (以下の計算式により算出)

加算点 (自動計算

(加算点) = (入札参加者の企業の施工能力の得点合計/企業の施工能力の配点合計) ×2.5点+ (入札参加者の配置予定技術者の得点合計/配置予定技術者の配点合計) ×2.5点 + (入札参加者の技術力の継続的な確保の得点合計/技術力の継続的な確保の配点合計) ×1.5点+ (入札参加者の地理的要件の得点合計/地理的要件の配点合計) ×1.5点 + (入札参加者の地理的要件の得点合計/地域有限で開始合計/ ×2点

評価値(小数第5位以下を切り拾て小数第4位止め) (以下の計算式により算出)

評価値 (自動計算

(評価値)=[基礎点(80点)+施工体制確認点(20点)+加算点(D)]/入札価格(C) ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

【土木一式工事(激甚災害相当時)の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者領で入札書の金額に訂正させていただきます。)
入札金額
(税抜、単位:円)

一税抜、円単位で記載

工事名

#### 評 価 項 目 等 (実績確認型)

*	入札者は評価基準に該当	iする得点を入札者記載欄に記載してくた	een.		
	(1)企業の施工能力について				得点
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	(入札者記載欄)
選択		過去15年間の同種・類似工事の施工実績	同種工事の実績あり 類似工事の実績あり	10 5	
3/4			上記以外	0 20	
			80点以上 78点以上80点未满	18	
必	工事成績評定点		76点以上78点未满 74点以上76点未满	16 14	
須	T T NOVEL I ACM	過去3か年度の工事成績評定点	72点以上74点未满	12	
			70点以上72点未满 70点未满	10 0	
必		土木一式工事における過去5か年度の優良工事表	2回以上の知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	10	
須	優良工事表彰歴	彰歴	知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり 表彰なし	5	
*	1 「同種・類似工事の施工実績」で 同種工事	は、次に掲げる工事に該当するものを評価する。 	•	-	
*:	類似工事	→ して、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績 → して、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績 → している。	責は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。		
,,,,					
	(2)配置予定技術者について		77.74.14		得点
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	(入札者記載欄)
-88			主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり 主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	10 6	
選択		過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代理人 としての同種・類似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	4 2	
			現場代理人として類似工事の従事経験あり 上記以外	0	
選	主任 (監理) 技術者の保有す	保有する資格の有無	<u>監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)</u> 主任技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5 3	
択	る資格		上記以外	0 5	
			100ユニット以上 80ユニット以上100ユニット未満	4	
必須		CPDの取得単位数	60ユニット以上80ユニット未満 40ユニット以上60ユニット未満	3 2	
-			40ユニット以上00ユニット未満 20ユニット以上40ユニット未満	1	
*		┃	20ユニット未満ける。	0	
	2 「同種・類似工事の従事経験」に1	ついて、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員と	としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。		
Г	(3)技術力の継続的な確保に 評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
_	計画項目			10	(入札者記載欄)
		(無限・PC者・水戸機門工事等で工事製作を吊う場合) 製作工場の有無	市内にあり	0	
選		(全存象級を用いる第上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用 上記以外	10 0	
択		(工程が土木一式における一個土木の場合) セスミンス・キャル・ボース・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量2 t 以上)を所有	5	
		掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量2t以上)の所有の有無	掘削系建設機械を所有 上記以外	3 0	
必		災害時の事業継続計画(BCP)の認定の有無	四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会の認定あり	5	
須	24 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	5-11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	認定なし	0	
選択	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の 全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
			上記以外 30歳未満を担当技術者として配置	5	
必		若手技術者等(35歳未満)の現場への配置	35歳未満を担当技術者として配置 30歳未満を現場代理人として配置	2	
須	石丁以前日号の日成	石于1X的目号(GU版水闸) U 机场 "U LL LL	35歳未満を現場代理人として配置	1	
*	1 「市内下請業者の活用」では、次(	に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。	上記以外	0	
	対象外工種				
	(4) 地理的要件				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
-			旧市町内に本店あり	15	(入札者記載欄)
必須		市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に本店あり	10	
須			市内に支店、営業所あり上記以外	5 0	
	(5)地域貢献度				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
-			  次の①、②いずれも実績あり	-	(入札者記載欄)
必		過去 か年度の災害協定等に基づく応急対策業務	① 応急対策業務 ② 災害ボランティア活動の実績	10	
須		遊云 が年度の火き励走寺に基づく 心忌対 東来榜 及び災害ボランティア活動の実績	次の①、②いずれかの実績あり ① 応急対策業務	5	
L			② 災害ボランティア活動の実績 上記以外	0	
必		過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回以上の参加実績あり 5回未満の参加実績あり	5 3	
須	2 777234		S   D   M   D   M   M   M   M   M   M   M	0 15	
必須	(工程が一級土木の場合) 災害の復旧工事の契約実績	過去 か年度の災害の復旧工事の契約実績	5件以上の契約実績あり	10	
			2件以上の契約実績あり 上記以外	0	
*	1 「災害対応等の実績」及び「災害の	の復旧工事の契約実績」の評価対象期間は、宇和島市の被災	<b>災規模に応じて設定する。</b>		
					配点合計 (発注者記載欄)
			※(発注者記載) 各評価項目の配点		
			(上記各評価項目	棡県の台計)	
		※以下、評価値等が自動計算されますが、	入札者においても確認願います。	Γ	得点合計 (自動計算)
			各評価項目の得点	合計 (B)	(브뢴리 유/
			(上記各評価項目	の得点合計)	
					入札価格
			4 11 Part 16 / 1811 12 44 11 44	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	人礼価格 (自動計算)
			入札価格(税抜、単位:億 (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合		
			AND A COMMISSION OF THE PARTY O	L	
				ſ	加算点
			加算点(小教第5位以下を切り捨て小教第4位」		(自動計算)
			(以下の計算式	により算出)	
	(加算点) = (入札参加者の	企業の施工能力の得点合計/企業の施工能力の配	点合計) ×2.5点+ (入札参加者の配置予定技術者の得点合計/配置予定技術者の配	点合計) ×2.5点	ī.

+ (入札参加者の技術力の継続的な確保の得点合計/技術力の継続的な確保の配点合計) ×1.5点+ (入札参加者の地理的要件の得点合計/地理的要件の配点合計) ×1.5点+ (入札参加者の地域貢献度の得点合計/地域貢献度の配点合計) ×2点

評価値(小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (以下の計算式により算出)

【土木一式工事以外(激甚災害相当時)の場合】

\*\* ( 入札舎館、入札舎館 ( 発性 円 ) ( 入札舎館 ( 大化 ) ( 大化

←税抜、円単位で記載

工事名
商号又は名称

# 評価項目等(実績確認型) ※入札者は評価基準に該当する得点を入札者記載欄に記載してください。

(1)	企業の施工能力について	•

	(1) 企業の施工能力について				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
:50			同種工事の実績あり	10	
捉	同種・類似工事の施工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	(入札者記載欄) 10 5 0 20 18 16 14 12	
120			上記以外	0	0
			80点以上	20	
			78点以上80点未满	18	
-00			76点以上78点未満	16	
選切	工事成績評定点	過去6か年度の工事成績評定点	74点以上76点未満	14	
3/			72点以上74点未满	12	
			70点以上72点未満	10	
			70点未満	0	

| 「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。 | 西種工事 | 類似工事 | 数化工事 | 数2 「同種・類似工事 | 数2 「同種・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(2)	配置	予定技	術者	につい

		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
Г				主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
进护	52		過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代理人としての同種・類似工事の従	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
	世 同種・類似工事の役	同種・類似工事の従事経験	超太13年間の主任(監理) 技術名及び祝徳10年入としての同様・規模工事の使 事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
			7-16-94	現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
				上記以外	0	
Γ.		主任(監理)技術者の保有する 資格	保有する資格の有無	監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
- 13	提			主任技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	3	
- 1	1			上記以外	0	
П	П			100ユニット以上	5	
				80ユニット以上100ユニット未満	4	
4	Ø	継続学習(CPD)の取組み	CPDの取得単位数	60ユニット以上80ユニット未満	3	
- 1	頁	他の子目(ひこり)の収組の	0 ドロの取得単位数	40ユニット以上60ユニット未満	2	
				20ユニット以上40ユニット未満	1	
L				20ユニット未満	0	

20ユニット来画 ※1 「同種・類似工事の従事経験」では、上版(1)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。 ※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
		(原稿・PO器・水門銀門工事等で工業制作を伴う場合)	市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし	0	
		(金作業最を用いる第上工事の場合)	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用	10	
		所有する主作業船の有無又は使用	上記以外	0	
		(映画工事主要指統を用いる映画工事の場合)	所有する法面工事主要機械を当該工事で使用	5	
		所有する法面工事主要機械の使用	上記以外	0	
選 明佛等性工作制	アスファルトプラントが市内にありかつ所有するアスファルトフィニッシャを当該工 事で使用	15			
R	X 開 子尼工 [ 中 6 ]	(アスファルト機数工事の場合) アスファルトブラントの有無及び所有するアスファルトフィニッシャの使用	アスファルトブラントが市内にあり	10	
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	5	
			上記以外	0	
		(アスファルト機能工事でアスファルトフィニッシャを使用しない場合) アスファルトブラントの有無	アスファルトブラントが市内にあり	10	
			上記以外	0	
		(工電が開発の場合) 所有する解体用重機の使用	所有する解体用重機を当該工事で使用	5	
			上記以外	0	
200	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請集者(二次以下を含む)が市内集者である又は元請集者が市内業者で工事 の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
`			上記以外	0	
			30歳未満を担当技術者として配置	5	
ò.			35歳未満を担当技術者として配置	4	
8	若手技術者等の育成	若手技術者等 (35歳未満) の現場への配置	30歳未満を現場代理人として配置	2	
~	1		35歳未満を現場代理人として配置	1	
	I		上記以外	0	

対象外工種

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
ď.			市内に本店あり	10	
酒	本・支店、営業所の有無	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に支店、営業所あり	5	
~~			上記以外	0	

(F) 445-34m

	(5) 地域貢献度				
Į	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
24	*99		次の①、②いずれも実績あり ① 応急対策業務 ② 災害ボランティア活動の実績	10	
	歴 択 災害対応等の実績	過去 か年度の災害協定等に基づく応急対策業務及び災害ポランティア活動の 実績	次の①、②いずれかの実績あり ① 応急対策業務 ② 災害ポランティア活動の実績	5	
			上記以外	0	
ſ	di.		5回以上の参加実績あり	5	
	必 海 地域貢献活動への参加実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3	
			参加家績な1.	0	

※1「災害対応等の実績」の評価対象期間は、宇和島市の被災規模に応じて設定する。

配点合計 (発注者記載欄) ※(発注者記載) 各評価項目の配点合計(A) (上記各評価項目満点の合計)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認願います。

各評価項目の得点合計 (B) (上記各評価項目の得点合計)

入札価格 (自動計算)

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

加算点 (自動計算)

加算点 (小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (D) (以下の計算式により算出) (加算点) = (入札参加者の企業の施工能力の得点合計/企業の施工能力の配点合計) ×2.5点+ (入札参加者の配置予定技術者の得点合計/配置予定技術者の配点合計) ×2.5点 + (入札参加者の技術力の機械的公確保の機合計/技術力の機能的な確保の配点合計) ×1.5点+ (入札参加者の地理的要件の得点合計/地理的要件の配点合計) ×1.5点 + (入札参加者の地域質験皮の得点合計/地域質散皮の配合合計) ×2.5点

評価値 (自動計算)

評価値(小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (以下の計算式により算出)

【土木一式工事(平時)の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者側で入札書の金額に訂正させていただきます。) 入札金額 (税抜、単位:円) ←税抜、円単位で記 ←税抜、円単位で記載

工事名	
商号又は名称	

#### 評価項目等(簡易実績型)

#### ※入札者は評価基準に該当する得点を入札者記載欄に記載してください。

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
199	同種・類似工事の施工		同種工事の実績あり	10	
坦坦	同種・類似工事の施工 実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
2/4	X-191		上記以外	0	
.W. 1	「同種・類似工事の施工事	『結』では、次に掲げる工事に該当するものを評価。	₹å.		

※1 「同様工類以上中の配上夫領」では、次に担いの上手に終ヨするものでお知る。 同様工事 類似工事 ※2 「同様、類似工事の施工夫績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工夫績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工夫績に含まない。

_	(2) 癿直了足技術省中				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
			主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
199	同様 軽加工する従事	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
		週去15年间の主任(監理)技術有及の現場代  理人としての同種・類似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	(入札者記載欄) 0 6 4 2 2 0 5 3 0 5 5 4
υ.	<b>州工</b> 名文	生人としての同性 規模工事の化事性級	現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
			上記以外	0	7
ıλ	ナケ (監理) 井佐井の		監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	;
須	主任(監理)技術者の 保有する資格	3			
		上記以外	0		
			50ユニット以上	5	
			40ユニット以上50ユニット未満	10 (入札者記載欄) 10 6 4 2 0 5 3 0	
	継続学習(CPD)の	CPDの取得単位数	30ユニット以上40ユニット未満	3	
須	取組み	01 D04K17+124X	20ユニット以上30ユニット未満	2	
			10ユニット以上20ユニット未満	1	
1			10ユニット未満	0	

(3)技術力の継続的な確保について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
		(銀額・PC額・水門銀門工事等で工場銀作を伴う場合)	市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし	0	
		(主作業船を用いる海上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用	10	10 0 5 3
进択	設備等施工体制	所有する主作未始の有無又は使用	上記以外	0	
D.C		(工程が土木一式における一級土木の場合)	掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量 2 t 以上)を所有	5	
		掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量 2t以上)の所有の有無	掘削系建設機械を所有	3	
		2001年9月末	上記以外	0	
必	災害時の事業継続力	災害時の事業継続計画(BCP)の認定の有無	四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会の認定あり	5	
須	<b>火日</b> 的00 学术柜机刀	火日前の事業組続計画(1501)の記定の背無	認定なし	0	
選切	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
100			上記以外	0	

「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。 対象外工種 対象外工種

(4) 地理的要件

	(1) -0-2435(1)				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
Г			旧市町内に本店あり	15	
业	本・支店、営業所の有	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に本店あり	10	
3	無	川内 (の本・文店、呂朱所の所任の有無	市内に支店、営業所あり	5	
			上記以外	0	1

		(5)地球員駅度				
		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
ſ	必	災害対応等の実績	過去2か年度の災害ボランティア活動の実績	災害ボランティア活動の実績あり	10	
3	須	人自内心寺の大根	<b>尼公とが中央の大日ボラン</b> ブイブル動の大根	上記以外	0	
ſ	ď.	4454X4 084		5回以上の参加実績あり	5	
1	必須	地域貝脈活動への参加 実績		5回未満の参加実績あり	3	
	150	<b>∠</b> 484		参加宝績なし	0	

※ (発注者記載) 各評価項目の配点合計 (A) (上記各評価項目満点の合計)

配点合計

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認顧います。

各評価項目の得点合計 (B) (上配各評価項目の得点合計)

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

入札価格 (自動計算)

加算点 (自動計算)

加算点(小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (D) (以下の計算式により算出) (加算点) = (入札者自ら評価した各評価項目の得点合計(B)/各評価項目の配点合計(A))×10点

評価値(小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (以下の計算式により算出)

評価値 (自動計算)	

(評価値)={基礎点(80点)+施工体制確認点(20点)+加算点(D)}/入札価格(C) ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

<sup>|</sup>ロユーツト不向 ※1「同種・類似工事の従事経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。 ※2「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

【土木一式工事以外(平時)の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者側で入札書の金額に訂正させていただきます。) 入札金額 (税抜、単位:円) ←税抜、円単位で割 ←税抜、円単位で記載 商号又は名称

# 評価項目等(簡易実績型) ※入札者は評価基準に該当する得点を入札者配載欄に配載してください。

(1) 企業の施工能力について

		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
-	選 同利	# #W-#-		同種工事の実績あり	10	
	尺 実統		過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
1		**************************************		上記以外	0	

(2) 配置予定技術者について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
選	同種・類似丁事の従事	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代	主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり 主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	10 6	
		理人としての同種・類似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり 現場代理人として類似工事の従事経験あり 上記以外	2	
.cv	÷/7 (黔田) 廿年本の		<u>工能以外</u> 監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を 除く。)	5	
須	主任 (監理) 技術者の 保有する資格	保有する資格の有無	主任技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を 除く。)	3	
<u> </u>			上記以外	0	
			50ユニット以上 40ユニット以上50ユニット未満	4	
	継続学習(CPD)の	CPDの取得単位数	30ユニット以上40ユニット未満	3	
須	取組み	01 000取得丰压级	20ユニット以上30ユニット未満	2	
			10ユニット以上20ユニット未満 10ユニット未満	1 0	
	「田孫・紹州工事の従事祭	 		U	

※1 「同種・類似工事の従事経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。 ※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

	(3)技術力の継続的な	は催保について			
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
		(集積・PC機・水門提門工事等で工場製作を伴う場合)	市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし	0	
		(生作業船を用いる海上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工 事で使用	10	
		IN A 7 UZ IF X MUS H M X IU X II	上記以外	0	
		(法国工事主要機械を用いる法国工事の場合)	所有する法面工事主要機械を当該工事で使用	5	
		7 ************************************	上記以外	0	
選			アスファルトプラントが市内にありかつ所有するアスファルトフィニッシャ を当該工事で使用	15	
選択	設備等施工体制		アスファルトプラントが市内にあり	10	
		スファルトフィニッシャの使用	所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	15	
		-	上記以外	0	
		(アスファルト首装工事でアスファルトフィニッシャを使用し ない場合)	アスファルトプラントが市内にあり	10 0 5 0 15 10 5	
			上記以外	0	
		(工程が条体の場合)	所有する解体用重機を当該工事で使用	5	
1		所有する解体用重機の使用	上記以外	0	
選切	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
201	I		上記以外	0	

■ は、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。

対象外工種

	(4) 地理的要件				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
ıù	本・支店、営業所の有		市内に本店あり	10	
	無	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に支店、営業所あり	5	
Ľ	T TIN		上記以外	0	

	(5) 地球貝献度				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
選	災害対応等の実績	【二個が足束 二氏、音表人は言い有口/	災害ボランティア活動の実績あり	10	
択	火音列心寺の天積	過去2か年度の災害ボランティア活動の実績	上記以外	0	
ıi)	地域言献活動への会加		5回以上の参加実績あり	5	
20	実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3	
"	大帆		参加宝績な!	0	

※(発注者記載) 各評価項目の配点合計(A) (上記各評価項目満点の合計)

配点合計 (発注者記載欄) 得点合計 (自動計算)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認願います。

各評価項目の得点合計 (B) (上記各評価項目の得点合計)

入札価格(自動計算)

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

加算点 (小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め) (D) (以下の計算式により算出)

加算点 (自動計算)

(加算点) = (入札者自ら評価した各評価項目の得点合計(B) /各評価項目の配点合計(A)) × 10点

評価値 (自動計算)

評価値(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め) (以下の計算式により算出)

(評価値)={基礎点(80点)+施工体制確認点(20点)+加算点(D)}/入札価格(C) ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

【土木一式工事(激甚災害相当時)の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者領で入札書の金額に訂正させていただきます。) 入札金額 (税後、単位:円) ←税抜、円単位で記載

工事名
商号又は名称

,					
×	7. 村夫け転信其準	評 個 に該当する得点を入札者記載欄に			
•			BLANC C 1/2 C V 'S		
	(1)企業の施工能力 評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄
200	同種・類似工事の施		同種工事の実績あり	10	(人札否記載欄
₹	工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり 上記以外	5 0	
	同種・類似工事の施工  同種工事  類似工事	実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価 	<b>而ずる。</b>		
		実績」について、共同企業体の代表者でない構成	<b>員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。</b>		
	(2)配置予定技術者	について			祖上
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄
200	同種・類似工事の従	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場	主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり 主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	10 6	
R	事経験	代理人としての同種・類似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり 現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
_			上記以外 監理技術者になれる資格 (実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除	0 5	
公百	主任 (監理) 技術者 の保有する資格	保有する資格の有無	(く。) 主任技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除	3	
_			上記以外	0	
			50ユニット以上 40ユニット以上50ユニット未満	5 4	
į	継続学習(CPD) の取組み	CPDの取得単位数	30ユニット以上40ユニット未満 20ユニット以上30ユニット未満	3	
			10ユニット以上20ユニット未満	1 0	
1	   「同種・類似工事の従事:   「同種・類似工事の従事:	▲ 経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該: 経験」について、担当技術業及び共同企業体の供:	10ユニット未満 当するものを評価する。 表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経		1)
< 2	(3)技術力の継続的		X省(ゆり特殊更としての近年を改体、人们が出現市にはカル、 60日 at IIIIにのいては東東	数に自み体	
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄
		(偏信・PC者・水門福門工事等で工場値作を伴う場合) 製作工場の有無	市内にあり市内になし	10	
		(生存集験を用いる第上工事の場合)	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事 で使用	10	
異尺	設備等施工体制	所有する主作業船の有無又は使用	上記以外	0	
		(工程が土木一式における一般土木の場合) 掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載	掘削系建設機械及びダンプトラック (最大積載量 2 t 以上) を所有 掘削系建設機械を所有	5	
		量2t以上)の所有の有無	上記以外	0	
必須	災害時の事業継続力	災害時の事業継続計画(BCP)の認定の有無	四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会の認定あり 認定なし	5	
選択	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者 で工事の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
	「市内下請業者の活用」	┃ では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外。	上記以外	0	
	対象外工種				
_	(4)地理的要件				得点
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	(入札者記載欄
ĕ	本・支店、営業所の	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に本店あり	10	
頁	有無		市内に支店、営業所あり上記以外	5 0	
	(5)地域貢献度				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
			次の①、②いずれも実績あり ① 応急対策業務	10	(7110 11 110 110 110
必須	災害対応等の実績	過去 か年度の災害協定等に基づく応急対 策業務及び災害ボランティア活動の実績	② 災害ポランティア活動の実績 次の①、②いずれかの実績あり		
æ		米米切及び火音ボックティテル副の大根	① 応急対策業務 ② 災害ポランティア活動の実績	5	
必	地域貢献活動への参		上記以外 5回以上の参加実績あり	5	
須		過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり 参加実績なし	3	
必	(工程が一般土木の場合)		10件以上の契約実績あり 5件以上の契約実績あり	15 10	
須	災害の復旧工事の契 約実績	過去 か年度の災害の復旧工事の契約実績	2件以上の契約実績あり	5	
Ķ 1	「災害対応等の実績」及	▲ び「災害の復旧工事の契約実績」の評価対象期間Ⅰ	上記以外 は、宇和島市の被災規模に応じて設定する。	0	
					配点合計
			※(発注者記載) 各評価項目の配点合計		(発注者記載欄
			(上記各評価項目満点	の合計)	
		<b>※以下、評価値等が自動計算されま</b>	すが、入札者においても確認顧います。		得点合計 (自動計算)
			各評価項目の得点合計 (上配各評価項目の得		
			/李斯片町 医球目の位		3 11 /#46
			- 11 mile (1911 - 1911 - 1911 - 1911 - 1911 - 1911 - 1911 - 1911 - 1911 - 1911 - 1911 - 1911 - 1911 - 1911 - 1		入札価格 (自動計算)
			入札価格(税抜、単位:億円) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.0		
					加算点 (自動計算)
			加算点(小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (以下の計算式によ		
	(加算点) =(入札者	i自ら評価した各評価項目の得点合計(B)	/各評価項目の配点合計(A))×10点	/	

評価値 (自動計算) 評価値(小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (以下の計算式により算出)

(評価値) = (基礎点(80点) + 施工体制確認点(20点) + 加算点(D))/ 入札価格(C) ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

【土木一式工事以外(激甚災害相当時)の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、入札書の金観と渡う場合は、発注者側で入札書の金観に訂正させていただきます。) 入札金融 (税抜、単位:円) ←税抜、円単位で記載

工事名	
商号又は名称	:
同う人は石利	

#### 評価項目等 ※入札者は評価基準に該当する得点を入札者記載欄に記載してください。 (簡易実績型)

(1) 企業の施工能力について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
188	<b>見廷 若似不市の作</b> 不		同種工事の実績あり	10	
担	同種・類似工事の施工 実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
יעו	2418		上記以外	0	
*	1 「同種・類似工事の施工9	実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価	する。		
	同種工事				

回様上学 類似工事 ※2 「同様・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(2)配置予定技術者について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
			主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
:88	日廷・若似て東の従事	温土15年間の土灯 (乾坤) 井朱本五が項目	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
坦	回性・現似エ <b>争</b> の化争 終齢	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場 代理人としての同種・類似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
2/4	NE 40X	に生べこととの同性 気体工事の化事柱表	現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
			上記以外	0	
.27	47 (BTID) +45 8 0		監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除 (。)	5	
須	主任 (監理) 技術者の 保有する資格	保有する資格の有無	主任技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	3	
			上記以外	0	
			50ユニット以上	5	
			40ユニット以上50ユニット未満	4	
必	継続学習(CPD)の 取組み	CDDの取得単位物	30ユニット以上40ユニット未満	3	
須	取組み	CLDO軟件丰匠数	20ユニット以上30ユニット未満	2	
			10ユニット以上20ユニット未満	1	
	「円様・箱似工事の従事を		10ユニット未満	0	

※1 「同種・類似工事の従事経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該当するものを辞事する。 ※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

(3)技術力の継続的な確保について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
		(興奮・PC器・水門額門工事等で工場製作を伴う場合) 製作工場の有無	市内にあり	10	
		表TF工場の有無	市内になし	0	
		(全作象船を用いる海上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で 使用	10	
		IN H ) ULIFAMUO H MARIO KIN	上記以外	0	
		(法国工事主要機械を用いる法国工事の場合)	所有する法面工事主要機械を当該工事で使用	5	
		所有する法面工事主要機械の使用	上記以外	0	
選			アスファルトプラントが市内にありかつ所有するアスファルトフィニッシャを当 該工事で使用	15	
択	設備等施工体制	(アスファルト館鉄工事の場合) アスファルトプラントの有無及び所有する	アスファルトプラントが市内にあり	10	
			所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	5	
			上記以外	0	
		(アスファルト値装工事でアスファルトフィニッシャを使用 しない場合)	アスファルトプラントが市内にあり	10	
		アスファルトプラントの有無	上記以外	0	
		(工程が保体の場合)	所有する解体用重機を当該工事で使用	5	
		所有する解体用重機の使用	上記以外	0	
選択	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者で 工事の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
<i>u</i> <	1		上記以外	0	

対象外工種

		(4)地埋旳要件				
		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
1	3 4	は・支店、営業所の有		市内に本店あり	10	
	頁 無		市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に支店、営業所あり	5	
13	× m	m .		上記以外	0	

(5) 地域貢献度

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
選		(工程が建築一式、舗装又は管の場合)	次の①、②いずれも実績あり ① 応急対策業務 ② 災害ボランティア活動の実績	10	
択	災害対応寺の美額	過去 か年度の災害協定等に基づく応急対 策業務及び災害ボランティア活動の実績	次の①、②いずれかの実績あり ① 応急対策業務 ② 災害ボランティア活動の実績	5	
			上記以外	0	
ďλ.	<b>业技会技工制。</b> 0 参加		5回以上の参加実績あり	5	
/活	地域貝脈沿動への参加 実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3	
259	大根		参加実績なし	0	

参加3 ※1「災害対応等の実績」の評価対象期間は、宇和島市の被災規模に応じて設定する。

配点合計 (発注者記載欄) ※(発注者記載) 各評価項目の配点合計(A)(上記各評価項目満点の合計)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認顧います。

各評価項目の得点合計 (B) (上配各評価項目の得点合計)

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

加算点

入札価格(自動計算)

加算点(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め)(D) (以下の計算式により算出)

(加算点) = (入札者自ら評価した各評価項目の得点合計(B) / 各評価項目の配点合計(A)) × 10点

評価値 (小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (以下の計算式により算出)

(評価値)={基礎点(80点)+施工体制確認点(20点)+加算点(D)}/入札価格(C) ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

### 施工上配慮すべき事項 工事名 : 商号又は名称:

	評価内容
項	目① 【 〈見出し〉
具体的な対応策	〈実施内容〉
対対	<b>〈見出し〉</b>
応策	〈実施内容〉
坦	目② 〈見出し〉
具体的な対応策	
な 対	〈見出し〉
応策	〈実施内容〉
マエ	
坦	
具体的な対応策	〈見出し〉    〈実施内容〉
対応策	〈見出し〉           〈実施内容〉
т舌	目④
垻	日生     〈見出し〉
具体的な	〈実施内容〉
対	〈見出し〉 〈実施内容〉
な対応策	〈夫施內谷〉 
т古	目⑤
坦	日
具体的な対応策	〈実施内容〉
い放	〈見出し〉
応策	〈実施内容〉

(様式2)
-------

(1000 4 11 )													(/ 17/12/11 1 /
					工程	管理に係る	る技術的原	「 「 「 工程 工事	是表) 名 :				
								<u>商号</u> 万	スは名称:				_
項 目	単位	数量	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	備考
▲丁和竺珊に校で出		<u> </u> =	<u> </u>	l	l	l	l	l	l	l	l	l	

●工程管理に係る技術的所見

※本様式の設定を変更することなく作成すること。

(用紙A4) (様式3)

品質管理に係る技術的所見 工事名 :

	一直 号又は名称:
	評価内容
項	目①
	〈見出し〉
具体	〈実施内容〉
具体的な対応策	
対対	〈見出し〉 〈実施内容〉
策	
項	
Ħ	〈見出し〉         〈実施内容〉
具体的な対応策	\ 夫.旭 P) 谷 /
なが	〈見出し〉
心策	〈実施内容〉
項	目③
	〈見出し〉
具体	〈実施内容〉
具体的な対応策	
対	<b>〈見出し〉</b>
応等	〈実施内容〉
)K	
項	
具	〈見出し〉         〈実施内容〉
具体的な対応策	
かな	
対応	〈完正し〉    〈実施内容〉
策	
項	
目	〈見出し〉         〈実施内容〉
具体的な対応策	\大心   1   1   1   1   1   1   1   1   1
な対	〈見出し〉
で応策	〈実施内容〉

## 企業の施工能力について

工事名: 商号又は名称:

(	1)	協一	L実績
١.		/ [[ ]].	I <del>✓</del> /\\⊟

(1) \( \mu_{\text{i}} \)	上大阪	Í										
	Ι.	事	名									
	発 注	者	名									
	工事	場	所									
	契 約	金	額									
	工		期	年	月	日	~	年	月	日		
(該)			等 酒所印を付	□単体 □共同分 □共同分		(出資」	七率 者以外	の構成	員)			
工事		000	)()									
工事概要等		000										

- 注1 入札公告に掲げる要件をすべて満たす同種工事等の元請としての施工実績について記載すること。
  - 2 工事場所は、市町村名まで記載すること。
  - 3 同種工事等の施工実績の概要は、開札日から起算して過去15年間に、入札公告に掲げる要件をすべて 満たす同種工事等の元請としての施工実績について記載すること。
  - 4 受注形態等の()内は、共同企業体における自己の出資比率を記載すること。
  - 5 記載した内容は、施工実績を証する書類により確認できるものであること。
  - 6 完成した宇和島市発注の工事に係るものにあっては、工事成績評定点が65点未満のものは、施工実績として認めない。
- ※工事概要等の右欄には、同種工事等の施工実績として求める事項を記載すること。

【施工計画型の場合(工種が解体工事のときを除く。)】

(2) 工事成績評定点

の工事成績評定平均点
------------

注 発注する工事が施工計画型の場合に、前(3・6)か年度に完成した宇和島市発注の工事成績評定点 (完成検査後に修正があった工事については、修正後の工事成績評定点とする。)の平均点(小数第1位 を四捨五入した整数)を記載すること。

なお、65点未満の工事がある場合も、平均点の算定に加味すること。

※工事成績評定対象は、土木一式工事は3か年度(港湾・海上工事及びPC橋上部工事については、6か年度)、土木一式工事以外は6か年度であるため、表中及び注書きの(3・6)のいずれかとすること。

# 【工種が土木一式で施工計画型の場合】

(3)優良工事表彰歴

(4) 反としまりとし	
土木一式工事における過去 5 か年度の優良 工事表彰歴 (該当する□に一箇所印を	□2回以上 □1回 □なし
付すこと。)	

注 発注する工事の工種が土木一式工事で施工計画型の場合に、当該年度を除く過去5か年度における国土 交通省四国地方整備局長表彰又は愛媛県知事表彰の表彰歴(土木一式工事に限る。)を記載すること。 なお、記載した内容は、表彰状の写しにより確認できるものであること。

# 配置予定技術者について

工事名 : <u>商号又は名称:</u>

# (1) 従事経験等

Į	毛	名	
Ą	<b>能</b> (該当する)	名 □に印を付すこと。)	□ <b>監理技術者</b> □主任技術者
		析者資格者証 合に記載すること。)	交付年月日     年     月     日       登録番号
	法令によ	こる資格・免許 こ要する資格を記載すること。)	ILEANIE V
	工	事名	
	発	注 者 名	
	工	事場所	
	契	約 金 額	
同種		成時期 3□に一箇所印を付す	□過去 15 年以内 □完成後 15 年超経過
工事等の従事経験	_	受注形態等 る□に−箇所印を付す	□単体 □共同企業体(代表者) (出資比率 %) □共同企業体(代表者以外の構成員) (出資比率 %)
験の概要	<ul><li>該当ず</li><li>□に印き</li><li>当工事の</li></ul>	事 役 職ける役職についてを付するとともに、の従事期間についての□に印を付するこ	□監理技術者 □担当技術者 □工期の全体 □工期の 2/3 以上の期間(上記以外) □工期の2/3未満の期間
	概工	0000	
	要 等 事	0000	

*	主任 (監理) 技術者等の専任配置を要する工事との兼任予定の有無  ※AまたはBによる兼任予定「なし」の場合、以下記入不要。  ※兼任予定「あり」の場合、該当する①~④いずれかに☑を付し、必要項目を記入すること。  □なし						
	A該当	i(兼任予定工事あり)の	場合、①~③いずれかに☑を付し、必要項目を記入すること。				
		建設業法施行令第	27 条第 2 項該当				
	※事	前に発注者に対し兼任の	承認を得ていること。				
		法第 26 条第 3 項第	51号該当(専任特例1号関係)				
	Ж Г	人員の配置を示す計画書	」を作成すること。				
		法第 26 条第 3 項第	52号該当(専任特例2号関係)				
A	○監理技術者補佐について(記入項目)     ・氏名:     ・法令による資格・免許:						
	·	工事名					
	兼 発注機関名	発注機関名					
	兼任予定工事	監督員等名					
	事	契約金額					
	工 期 年月日~ 年月日						
В	□ ④営業所技術者等との兼任						
※「人員の配置を示す計画書」を作成すること。							
	兼任に係る市確認欄 確認日:						

#### 注

- 1. 入札公告に掲げる要件をすべて満たす配置予定監理(主任)技術者について記載すること。
- 2. 工事場所は、市町村名まで記載すること。
- 3. 完成時期の項は、開札日から起算しての年数とする。
- 4. 受注形態等の()内は、共同企業体における自己の出資比率を記載すること。
- 5. 入札公告に掲げるところに従い、追加資料の提出を求められた者については、別途指定する日時までに速やかに、監理(主任)技術者の資格等(3ヶ月以上の恒常的な雇用関係を含む。)及び従事経験を証する書類を提出すること。
- 6. 従事経験の工事に工期の全体を通して配置されていない者を監理(主任)技術者として配置する場合は、 上記5に加え、入札公告に掲げる工事の内容を施工する期間において配置されていることを証する書類 (従事経験の工事の実施工程表等)を提出すること。
- 7. 完成した宇和島市発注の工事に係るものにあっては、工事成績評定点が 65 点未満のものは、施工実績として認めない。
- 8. Aの専任配置の特例を適用する場合は、専任配置の特例の項の①から③のうち該当する項に☑を付し、 必要項目(共通記入項目含む)について記入すること。
- 9. Aの①建設業法施行令第 27 条第 2 項の規定に基づく兼任を予定している場合は、発注者に「主任技術者の兼任承認願」を提出し、事前に承認を得ていること。
- 10. Aの②建設業法第 26 条第 3 項第 1 号の規定により監理(主任)技術者の兼任を予定している場合は、「人員の配置を示す計画書」を作成のうえ提出すること。
- 11. Aの③建設業法第26条第3項第2号の規定により監理技術者の兼任を予定している場合は、共通記入

項目に加え、監理技術者補佐の「氏名」及び「法令による資格・免許」について記入すること。

- 12. 主任(監理)技術者を専任で配置する必要がある工事において、Bの④営業所技術者等との兼任の項に☑を付した場合は、「人員の配置を示す計画書」を作成のうえ提出すること。なお、営業所技術者等が法第 26 条第 3 項第 1 号に規定する監理(主任)技術者若しくは同項第 2 号に規定する監理技術者と兼任することは認められないので、留意すること。
- 13. 被保険者証の写しを提出する場合には、被保険者等記号・番号等にマスキングを施すこと。
- 14. 「兼任に係る市確認欄」は、応札者において記載する必要はない。
- ※工事概要等の右欄には、同種工事等の従事経験として求める項目を記載すること。

### (2)継続学習 (CPD)

CPDの取得単位数	ユニット	
してロジ状情中世級		

注 記載した内容は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会、(公社)日本技術士会、(公社)日本建築士連合会又は建築設備士関係団体CPD協議会が発行するCPDに係る証明書により確認できるものであること。

こと。 ただし、証明書は、証明日が開札日から起算して過去1年以内のものに限る。 証明書の証明日から起算して過去5年間の取得単位数の累計を記載すること。

#### (用紙A4)

## 技術力の継続的な確保について

工事名	:
商号又は名称	:
→	AL > 1 □ A ■

(1) 設備等施工体制

【鋼橋・PC橋・水門樋門工事等で工場製作を伴う場合】

市内における製作工場 (該当する□に一箇所印を 付すこと。) □なし

注 記載した製作工場は、自らが所有する工場であることを確認できるものであること。

### 【主作業船を用いる海上工事の場合】

所有する主作業船 (該当する□に一箇所印を付 すこと。) □自社所有

(当該工事に要する能力(求める能力:○○○○)以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用)

□該当船舶なし

注 記載した船舶については、自らが所有するものであり、かつ、求める能力を満たすものであることを確認できるものであること。なお、求める能力を満たさない場合は、当該船舶で施工が可能であることが確認できるものであること。

※所有する主作業船の表中に、当該工事において求める能力を記載すること。

#### 【法面工事主要機械を用いる法面工事の場合】

所有する法面工事主要機械 (該当する□に一箇所印を付 すこと。) □自社所有

(所有する法面工事主要機械を当該工事で使用)

□未所有又は当該工事では使用しない

注 記載した法面工事主要機械については、自らが所有するものであることを確認できるものであること。

### 【アスファルト舗装工事の場合】

市内におけるアスファルト プラント (該当する□に一箇所印を 付すこと。)	□あり □なし
所有するアスファルトフィ ニッシャ (該当する□に一箇所印を付 すこと。)	□自社所有 (所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用) □未所有又は当該工事では使用しない

- 注 1 記載したアスファルトプラントについては、自らが所有するものであることを確認できるものであること。 2 記載したアスファルトフィニッシャについては、自らが所有するものであることを確認できるもので
  - あること。

# 【工種が土木一式における一般土木の場合】

掘削系建設機械及びダンプ トラック(最大積載量2 t	□掘削系建設機械及びダンプトラック を所有 (機種名:	(最大積載量2 t 以上)
以上)の所有の有無 (該当する□に一箇所印を 付すこと。)	□掘削系建設機械を所有 (機種名: )	
	□該当機械なし	

- 注1 掘削系建設機械とは、ショベル系掘削機(ショベル、バックホウ、ドラグライン、クラムシェル、ク レーン又はパイルドライバーのアタッチメントを有するもの)、ブルドーザー(自重3t以上)、トラ クターショベル (バケット容量0.4㎡以上) であること。
  - 2 掘削系建設機械、ダンプトラックともに、開札日において自らが所有又は長期リース契約(1年以 上) していることを確認できるものであること。
  - 3 掘削系建設機械を所有する場合は、( )内に機種名を記入すること。

#### 【工種が解体の場合】

所有する解体用重機
(該当する口に一箇所印を
付すこと。)

□自社所有

(所有する解体用重機を当該工事で使用)

□未所有又は当該工事では使用しない

- 解体用重機は、労働安全衛生法施行令別表第7第6号1及び2に掲げる建設機械(ブレーカ、鉄骨切 断機、コンクリート圧砕機、解体用つかみ機)であること。
  - 2 開札日において自らが所有又は長期リース契約(1年以上)していることを確認できるものであるこ と。

#### 【工種が十木一式で施工計画型の場合】

(2)災害時の事業継続力

災害時の事業継続計画 (B	□四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会
CP) の認定の有無	の認定
(該当する□に一箇所印を 付すこと。)	□いずれも認定なし

注 発注する工事が土木一式工事で施工計画型の場合に、四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BC P等審査会で認定され、開札日において有効である災害時の事業継続計画(BCP)について記載するこ

なお、記載した内容は、認定書により確認できるものであること。

### (3) 市内下請業者の活用

全ての下請を含む施工体制	□全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者
の計画 (該当する□に一箇所印を	□元請業者が市内業者で工事の全てを自ら施工
付すこと。)	□上記のいずれにも該当なし

- 下請は、元請業者又は下請業者が他の建設業者と締結する請負契約であり、建設業法第2条第4項に 規定する下請契約によるものであること。
  - 2 対象外と指定した工種については評価対象外とする。

### 【施工計画型の場合】

(4) 若手技術者等

(1) H 1 1 1 1 1 1						
若手技術者等(35 歳未満) の現場への配置 (該当する□に一箇所印を 付すこと。)	□30歳未満を担当技術者として配置 □35歳未満を担当技術者として配置 □30歳未満を現場代理人として配置 □35歳未満を現場代理人として配置 □配置なし					
配置予定の若手技術者等氏名	生 年	月日		年齢 (開札日時点)	他工事の技術等	等又は営業所技 壬
	年	月	日	歳	□あり	□なし
	年	月	日	歳	□あり	□なし
	年	月	日	歳	□あり	□なし

- 1 発注する工事が施工計画型の場合に、若手技術者等(35歳未満)の現場への配置について記載すること。 2 若手技術者等は、開札日において35歳未満であることを書類により確認できるものであること。 3 担当技術者及び現場代理人が35歳未満の場合、担当技術者のいずれか(30歳未満又は35歳未満)に印を付すこと。 4 配置する場合は、配置予定の若手技術者等氏名、生年月日、年齢を記載すること。(候補者は複数記載可能であるが、30歳以上の者を含んだ場合は、上記の記載に関わらず「35歳未満」として評価する。) る。)
  - 5 担当技術者として配置する場合は、本工事に専任できる者であること。

(様式7) (用紙A4)

## 企業の地理的要件・地域貢献度について

工事名	:		
商号又は名称	::		

#### 【工種が舗装の場合】

(1)本・支店、営業所の所在地

本店	□市内  □市外
所在地	
アスファルトフ。ラント	□市内  □市外

- 注1 本店は、該当する□に一箇所印を付すこと。
  - 2 所在地は、入札参加有資格者名簿に登録されている本店、支店若しくは営業所(入札公告に掲げる業種について建設業法上の許可を受けているものに限る。)の所在地を記載すること。
  - 3 アスファルトプラントは、該当する□に一箇所印を付すこと。(出資比率が20パーセント以上のものに限る。)

#### 【工種が舗装以外の場合】

(1)本・支店、営業所の所在地

本店	□市内  □市外
所在地	

- 注1 本店は、該当する□に一箇所印を付すこと。
  - 2 所在地は、入札参加有資格者名簿に登録されている本店、支店若しくは営業所(入札公告に掲げる業種について建設業法上の許可を受けているものに限る。)の所在地を記載すること。
- (2) 災害対応等の実績(各項目ごとに、該当する口に一箇所印を付すこと。)

【工種が十木一式・建築一式・舗装及び管の場合(平時)】

	□あり			
過去2か年度の災害ボ	(	災害(活動日:	年 月 日))	
ランティア活動の実績				
	□なし			

注1 災害ボランティア活動の実績は、災害時に宇和島市において災害対策本部が設置され、同本部の要請 又は社会福祉協議会等の募集に応じて、災害ボランティア(無償のものに限る。(ただし、作業に要す る消耗品等について、実費相当の助成又は現物支給を受けたものを除く。))として参加した、公告日 の前年度以前2か年度における実績について記載すること。

なお、活動実績は、活動の実績調書(様式7-1)により確認できるものであること。

### 【工種が土木一式・建築一式・舗装及び管の場合(激甚災害相当時)】

過去 か年度の災害 協定等に基づく応急 対策業務の実績	□あり ( □なし	災害)		
過去 か年度の災害 ボランティア活動の 実績	□あり ( □なし	災害(活動日:	年 月	日))

- 注1 災害協定等に基づく応急対策業務の実績は、災害時における建設業者の防災活動等について定めた建 設関係団体と宇和島市との間の協定又は災害復旧における建設業者と宇和島市との間の契約に基づき実 施した公告日の前年度以前における実績について記載すること。
  - 2 災害ボランティア活動の実績は、災害時に宇和島市において災害対策本部が設置され、同本部の要請 又は社会福祉協議会等の募集に応じて、災害ボランティア(無償のものに限る。(ただし、作業に要す

る消耗品等について、実費相当の助成又は現物支給を受けたものを除く。))として参加した公告日の前年度以前における実績について記載すること。なお、活動実績は、活動の実績調書(様式7-1)により確認できるものであること。

- 3 評価対象期間は、宇和島市の被災規模に応じて設定する。
- (3)地域貢献活動への参加実績(各項目ごとに、該当する口に一箇所印を付すこと。)

過去	クリーン作戦	□あり ( 回) □なし
	宇和島市海ごみ清掃イベント	□あり ( 回) □なし
2か年度の参加実績	水道週間行事	□あり ( 回) □なし
実績	愛リバー 愛ビーチ 愛ロード	□あり ( 回) □なし

- 注1 宇和島市のクリーン作戦、宇和島市海ごみ清掃イベントへの参加実績であって、当該年度を除く過去 2か年度における参加実績について記載すること。
  - 2 宇和島市上下水道局の水道週間行事への参加実績であって、当該年度を除く過去2か年度における参加実績について記載すること。
  - 3 愛媛県の公共土木施設愛護事業 (「愛リバー」「愛ビーチ」「愛ロード」) への参加実績であって、 当該年度を除く過去2か年度における参加実績について記載すること。 (宇和島市内での活動に限る。 ただし、市内及び市外区域を一連の活動区域とする活動は参加実績とすることができる。)
  - 4 該当する□に印を付し、()内は、参加回数を記載すること。
  - 5 記載した内容は、実施機関等の証明等により確認できるものであること。

### 【工種が土木一式における一般土木(激甚災害相当時)の場合】

(4)災害復旧工事の契約実績(該当する口に一箇所印を付すこと。)

_ ` / _	- 1 - 12 -						,,,,,,		- 0 /			
							工事内	容				
	口あり	(	件)		□なし							
	発 注	機関	名:	(	○○部○C	)課					)	
\I	工	事	名:	(	○○災害復	旧工事					)	
過去	工		期:	(	令和○年○	)	日 ~	令和	1〇年〇〇月〇	日()	)	
	発 注	機関	名:	(							)	
か	工	事	名:	(							)	
牛   庚	工		期:	(	年	月	日	$\sim$	年	月	日)	
か年度の	発 注	機関	名:	(							)	
契	工	事	名:	(							)	
契約実績	工		期:	(	年	月	日	$\sim$	年	月	日)	
持	発 注	機関	名:	(							)	
/154	工	事	名:	(							)	
	工		期:	(	年	月	日	$\sim$	年	月	日)	
	発 注	機関	名:	(							)	
	工	事	名:	(							)	
	工		期:	(	年	月	日	$\sim$	年	月	日)	

- 注1 宇和島市発注の災害復旧工事(土木一式工事に限る。)の契約実績であって、当該年度を除く過去における契約実績について記載すること。
  - 2 工期は、月日まで記載すること。
  - 3 評価対象期間は、宇和島市の被災規模に応じて設定する。

(様式7-1) (用紙A4)

# 災害時における地域貢献活動の実績調書

商号又は名称	
活 動 の 概 要	
活動場所	
活 動 日	年 月 日~ 年 月 日
活動人数	延べ 人(実 人)
使用機械等	
その他	
	相違ないことを証明します。 月 日
証明者(実施機関)	

注 活動日は、正確に記載すること。

(様式8) (用紙A4)

# 施工体制確認書

宇和島市長様

住所:

会社名:

代表者氏名:

年 月 日付けで公告のありました 年度〇〇〇〇〇〇〇二事に提出した工事内訳書等の資料の内容で、本工事の品質確保のための施工体制のほか、必要な人員及び材料を確保し、適切な施工体制を十分確保します。

【土木一式工事(平時)の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者側で入札書の金額に訂正させていただきます。) 入札金額 (税抜、単位:円)

←税抜、円単位で記載

	_
工事名	
商号又は名称	I
	П

#### 評価項目等(実績確認型)

#### ※入札者は評価基準に該当する得点を入札者記載欄に記載してください。

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
199			同種工事の実績あり	10	
選択	同種・類似工事の施工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
			上記以外	0	
			80点以上	20	
			78点以上80点未满	18	
λín			76点以上78点未满	16	
必須	工事成績評定点	過去3か年度の工事成績評定点	74点以上76点未满	14	
-200		EL ON TROLFMANITEM	72点以上74点未满	12	
			70点以上72点未满	10	]
			70点未满	0	
ıλ			2回以上の知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	10	
必須	優良工事表彰歴	土木一式工事における過去5か年度の優良工事表彰歴	知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	5	
**		次に掲げる工事に該当するものを評価する。	表彰なし	0	

(2) 配置予定技術者について

	過去15年間の主任 (監理) 技術者及び現場代理人としての同種・類似工事の従事経験	主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり 主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり 環場代理人として同種工事の従事経験あり 現場代理人として解仏工事の従事経験あり	10 6 4	
	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代理人としての同種・類似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	6	
	ての同種・類似工事の従事経験		4	
		現場代理人として類似工事の従事経験あり		]
			2	
		上記以外	0	
理) 技術者の保有する資		監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
格	保有する資格の有無		3	4
			0	
	100ユニット以上	5		
		80ユニット以上100ユニット未満	4	
(CPD) の取組み	CDDの取得単位数	60ユニット以上80ユニット未満	3	
(CFD) OJAXNEO	C F Dの取得手位数	40ユニット以上60ユニット未満	2	
		20ユニット以上40ユニット未満	1	
		20ユニット未満	0	
	(CPD)の取組み	型)技術者の採有する資 (長有する資格の有無 (CPD) の取組み CPDの取得単位数	取り 技術者の採有する質 (保有する資格の有無	型 技術者の採有する質 保有する資格の有無

※1 「同種・類似工事の従事経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。
※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

(3) 技術力の継続的な確保について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
選品		(銀装・PC装・水門銀門工事等で工場製作を伴う場合)	市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし	0	
		(主作業齢を用いる海上工事の場合)	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用	10	
	設備等施工体制	所有する主作業船の有無又は使用	上記以外	0	
יע		(工程が土木一式における一級土木の場合)	掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量2 t 以上)を所有	5	
		掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量2t以上)	掘削系建設機械を所有	3	
			上記以外	0	
必	災害時の事業継続力	災害時の事業継続計画(BCP)の認定の有無	四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会の認定あり	5	
須	火合时の手来軽視力		認定なし	0	
選	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全てを自 ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
扒			上記以外	0	
Г			30歳未満を担当技術者として配置	5	
a'z.			35歳未満を担当技術者として配置	4	
1/20	若手技術者等の育成	若手技術者等 (35歳未満) の現場への配置	30歳未満を現場代理人として配置	2	
12			35歳未満を現場代理人として配置	1	
		0.7 - 78 - 88 - 7 - 78 - 78 - 78 - 78 - 7	上記以外	0	

市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする 対象外工種

_	(4) 地理的安计				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
Γ			旧市町内に本店あり	15	
4	本・支店、営業所の有無	無市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に本店あり	10	l
1			市内に支店、営業所あり	5	
ı			上記以外	0	

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
必	災害対応等の実績	過去2か年度の災害ボランティア活動の実績	災害ポランティア活動の実績あり	10	
須			上記以外	0	
必	地域貢献活動への参加実績		5回以上の参加実績あり 5回未満の参加実績あり	5 3	
須			参加実績なし	0	

配点合計 (発注者記載欄) ※(発注者記載) 各評価項目の配点合計(A) (上記各評価項目満点の合計)

得点合計 自動計算

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認願います。

各評価項目の得点合計 (B) (上配各評価項目の得点合計)

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

加算点 (小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め) (D) (以下の計算式により算出)

加算点 (自動計算)

(加算点) = (入札参加者の企業の施工能力の得点合計/企業の施工能力の配点合計)×2.5点+ (入札参加者の配置予定技術者の得点合計/配置予定技術者の配点合計)×2.5点 + (入札参加者の技術力の継続的な確保の得点合計/技術力の継続的な確保の配点合計)×1.5点+ (入札参加者の地理的要件の得点合計/地理的要件の配点合計)×1.5点 + (入札参加者の地質可能反の機合合計/地質質質医の組合合計)×2点

評価値 (小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (以下の計算式により算出)

評価値 (自動計算)	

(評価値)={基礎点(80点)+施工体制確認点(20点)+加算点(D)}/入札価格(C) ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

(作来工、ジー 1) (上木一式工事以外 (平時) の場合] **※入札者は、入札金額 (税抜、単位:円) を配敷してください。**(ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者質で入札書の金額に訂正させていただきます。)
入札金額 (税拡、単位:円) ←税抜、円単位で記載

工事名 商号又は名称

# 評価項目等 (実績確認型) ※入札者は評価基準に験当する得点を入札者配載欄に配載してください。

(1)	企業の体工がカについて	

_	(1)企業の施工能力について				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
:2			同種工事の実績あり	10	
退拼	同種・類似工事の施工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
[-			上記以外	0	
			80点以上	20	
			78点以上80点未满	18	
			76点以上78点未满	16	
逆折	工事成績評定点	過去6か年度の工事成績評定点	74点以上76点未满	14	
[-			72点以上74点未满	12	
			70点以上72点未满	10	
			70点未满	0	

※1「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
			主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
選択		過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代理人としての同種・類	主任 (監理) 技術者として類似工事の従事経験あり	6	
		週去13年間の主任(監理)技術者及び現場代理人としての问程・規 似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
1		7-7-7-10-4-10-01	現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
			上記以外	0	
:50	主任(監理)技術者の保有する資格	保有する資格の有無	監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
报			主任技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	3	
1			上記以外	0	
Г			100ユニット以上	5	
			80ユニット以上100ユニット未満	4	
必	継続学習(CPD)の取組み	CPDの取得単位数	60ユニット以上80ユニット未満	3	
須	MESSTER (CFD) WAXABUP	C P D 00 政府事 位数	40ユニット以上60ユニット未満	2	
			20ユニット以上40ユニット未満	1	
			20ユニット未満	0	

20ユーフ F木側 21 「同種・機似工事の従事経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。 ※2 「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

	(3) 技術力の継続的な確保について	T					
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)		
		(開催・PC機・水門銀門工事等で工場製作を伴う場合)	市内にあり	10			
		製作工場の有無	市内になし	0			
		(金作機能を用いる第上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用	10			
		1/16 / VIII ********************************	上記以外	0			
		(食養工事主要指給を用いる食養工事の場合)	所有する法面工事主要機械を当該工事で使用	5			
		所有する法面工事主要機械の使用	上記以外	0			
選択	設備等施工体制	(アスフォト・開北であり書) アスファルトプラントの有無及び所有するアスファルトフィニッシャの使用 (アスファルト超近をサアスファルトフィニッシャを提供しない場合) アスファルトガラントの名無 (C監督等後の場合) 所有する解析用単模の使用	アスファルトプラントが市内にありかつ所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で 使用	15			
			アスファルトプラントが市内にあり	10	ĺ		
			所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	5			
			上記以外	0			
			アスファルトブラントが市内にあり	10			
			上記以外	0			
			所有する解体用重機を当該工事で使用	5			
			上記以外	0			
選切	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全 てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5			
,			上記以外	0			
			30歳未満を担当技術者として配置	5			
'n			35歳未満を担当技術者として配置	4	Ī		
必須	若手技術者等の育成	若手技術者等 (35歳未満) の現場への配置	30歳未満を現場代理人として配置	2			
~~			35歳未満を現場代理人として配置	1			
			上記以外	0			
*	「市内下請業者の活用」では、次に掲げる	5工程に関する下請業者は対象外とする。					

※1「市内」。... 対象外工種 (4) 地理的要件

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
必須			市内に本店あり	10	
	本・支店、営業所の有無	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に支店、営業所あり	5	
			上記以外	0	

	- (	5) 地域貝斯度	<i></i>					
		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)		
j	麗			災害ボランティア活動の実績あり	10			
1	択災	災害対応等の実績	過去2か年度の災害ボランティア活動の実績	上記以外	0			
Γ.	či.			5回以上の参加実績あり	5			
12	酒地	域貢献活動への参加実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3			
- 1	-			参加実績なし	0			

※(発注者記載) 各評価項目の配点合計(A) (上記各評価項目満点の合計)

配点合計 (発注者記載欄)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認願います。

各評価項目の得点合計 (B) (上配各評価項目の得点合計)

得点合計 (自動計算)

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

入札価格 (自動計算)

加算点(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め) (D) (以下の計算式により算出)

加算点 (自動計算)

(加算点) = (入札参加者の企業の施工能力の得点合計/企業の施工能力の配点合計)×2.5点+ (入札参加者の配置予定技術者の得点合計/配置予定技術者の配点合計)×2.5点 + (入札参加者の技術力の超機的に確保の得点合計/技術力の機能的な確保の配点合計)×1.5点+ (入札参加者の地理的要件の得点合計/地理的要件の配点合計)×1.5点 + (入札参加者の地球質数度の得点台計/地域質数度の配合合計・2枚号

評価値(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め) (以下の計算式により算出)

評価値 (自動計算)	

(評価値) ={基礎点(80点)+施工体制確認点(20点)+加算点(D)}/入札価格(C) ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

【土木一式工事(激甚災害相当時)の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、入札書の金櫃と渡う場合は、発注者側で入札書の金櫃に訂正させていただきます。) √ 税金版 (税抜、単位:円)

←税抜、円単位で記載

		評 低	<b>五 項 目 等</b> (実績確認型)		
*	入札者は評価基準に該当	する得点を入札者記載欄に記載してくた	きさい。		
	(1)企業の施工能力について				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
選			同種工事の実績あり	10	(711011110441117)
択	同種・類似工事の施工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり 上記以外	5 0	
			80点以上 78点以上80点未满	20 18	
ě			76点以上78点未满	16	
須	工事成績評定点	過去3か年度の工事成績評定点	74点以上76点未满 72点以上74点未满	14 12	
			70点以上72点未满	10	
必		土木一式工事における過去5か年度の優良工事表彰	2回以上の知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり	10	
須	優良工事表彰歴	正	知事表彰又は四国地方整備局長表彰あり 表彰なし	5	
Ķ 1	「同種・類似工事の施工実績」では、 同種工事	次に掲げる工事に該当するものを評価する。 	,		•
<b>%</b> 2	類似工事	て、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、ご	入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。		
	(2)配置予定技術者について				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
	01 IM-74 IM	DI DAY / C	主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	(入札者記載欄)
選	D. 新加工市の保存の	過去15年間の主任 (監理) 技術者及び現場代理人と	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
択	同種・類似工事の従事経験	しての同種・類似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり 現場代理人として類似工事の従事経験あり	4 2	
			上記以外	0	
選	主任 (監理) 技術者の保有する資	保有する資格の有無	監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
択	格	Service A Service Law	主任技術者になれる資格 (実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。) 上記以外	3	
			100ユニット以上	5	
ĕ			80ユニット以上100ユニット未満 60ユニット以上80ユニット未満	3	
頁	継続学習(CPD)の取組み	CPDの取得単位数	40ユニット以上60ユニット未満	2	
_			20ユニット以上40ユニット未満 20ユニット未満	0	
€ 1 € 2		上記 (1) の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。 て、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての	D従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。		
_	(3)技術力の継続的な確保につ				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
		(倒接・PC接・水門框門工事等で工場製作を伴う場合)	市内にあり	10	()\10'11 aC#A1#/
		製作工場の有無	市内になし	0	
選択	設備等施工体制	(全存業最を用いる第上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用 上記以外	10	
0		(工程が土木一式における一般土木の場合)	掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量2t以上)を所有	5	
		掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量2t以上) の所有の有無	掘削系建設機械を所有上記以外	3	
必	災害時の事業継続力	災害時の事業継続計画(BCP)の認定の有無	四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会の認定あり	5	
須	X = 1,00 + X = 1,00	大日のサイルの(11日 1001 / 70日)との日本	認定なし 全ての下請業者 (二次以下を含む) が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全てを	0	
選択	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	主との Fili 来看(一次以下を含む)が山内来看とのる又はル門来看が山内来看と工事の主とを 自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く) 上記以外	5	
			30歳未満を担当技術者として配置	5	
必須	若手技術者等の育成	若手技術者等 (35歳未満) の現場への配置	35歳未満を担当技術者として配置 30歳未満を現場代理人として配置	2	
m			35歳未満を現場代理人として配置 上記以外	1 0	
Ķ 1		げる工種に関する下請業者は対象外とする。	工业外产		
	対象外工種				
_	(4) 地理的要件	T	T		49 ±
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
ĕ			旧市町内に本店あり	15 10	
須	本・支店、営業所の有無	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に支店、営業所あり	5	
	/=\  E ===++	l .	上記以外	0	
	(5) 地域貢献度	<b>発展 戸 小 切り</b>	\$17 pg. 14 cm	27.b	得点
	評価項目	評価内容	評価基準 次の①、②いずれも実績あり	配点	(入札者記載欄)
			次の()、(2)いすれも美額あり (1) 応急対策業務 (2) 災害ポランティア活動の実績	10	
必須	災害対応等の実績	過去 か年度の災害協定等に基づく応急対策業務及 び災害ボランティア活動の実績	② 火音パランナイア活動の天領 次の①、②いずれかの実績あり ① 応急対策業務	5	
			① ルジガ末未物 (2) 災害ポランティア活動の実績   上記以外	0	
ĕ	地域貢献活動への参加実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	上面以外 5回以上の参加実績あり 5回未満の参加実績あり	5	
須	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	~ ニー・・ エスマパン・サスか/ロギョ・ソングル大根	5 回木満の参加天領のり 参加天領なし 1 0 件以上の契約天績あり	0 15	
必須	(工能が一般土木の場合) 災害の復旧工事の契約実績	過去 か年度の災害の復旧工事の契約実績	5件以上の契約実績あり	10	
			2件以上の契約実績あり 上記以外	0	
€ 1	「災害対応等の実績」及び「災害の復	旧工事の契約実績」の評価対象期間は、宇和島市の被災規模に	に応じて設定する。		
					配点合計 (発注者記載欄)
			※ (発注者記載) 各評価項目の配点合計		( SEXT TH BLUESIE)
			(上記各評価項目満点	の合計)	<u> </u>
		※以下、評価値等が自動計算されますが、	入札者においても確認願います。		得点合計 (自動計算)
			各評価項目の得点合計 (上配各評価項目の得	(B)	
			(工配合計画項目の帯	ᇒᆸᄠᄼ	I
				ı	入札価格
			入札価格(税抜、単位:億円)	(c)	(自動計算)
			(例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.0		
					加算点 (自動計算)
			加算点 (小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (以下の計算式によ		
	(加笛占) = (114 参加本の/	C業の体工能力の得占会社 / 企業の体工能力の引	(以下の町井ユによ 点合計) ×2.5点+ (入札参加者の配置予定技術者の得点合計/配置予定技術者の配点合		5占
	(A) (3 日 会 h) 字(3 日 会 h) 字(4 日 会 h) 字(5 日	L.不いルールハッ 付用ロミノ 正未の肥上形力の配 D.世年もの維持めた時間の復去会社 / 世年もの維	尽言計)×2.3点+(入札参加省の配直ア正技術者の特別言計/配直ア正技術者の配別言 続めた確保の配占合計)×1.5占+(λ.4 参加者の地理的要件の得占合計/地理的要件の	·비/ 스스	~m -\ ∨1 E.E

(加算点) = (入札参加者の企業の施工能力の得点合計/企業の施工能力の配合合計)×2.5点+(入札参加者の配置予定技術者の得点合計/配置予定技術者の配点合計)×2.5点 + (入札参加者の技術力の継続的な確保の得点合計/技術力の継続的な確保の配点合計)×1.5点+(入札参加者の地理的要件の得点合計/地理的要件の配点合計/×1.5点 + (入札参加者の地域貢献度の得点合計/地域貢献度の配点合計)×2点

[	評価値 (自動計算)
評価値(小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (以下の計算式により算出)	

【土木一式工事以外 (激甚災害相当時) の場合】 ※入札者は、入札金額 (税抜、単位:円) を配像してください。 (ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者質で入札書の金額に訂正させていただきます。) 入札金額 (税拡、単位:円)

←税抜、円単位で記載

工事名 商号又は名称

# 評価項目等(実績確認型) ※入札者は評価基準に該当する得点を入札者記載欄に記載してください。

		(1) 企業の施工能力について				
		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
Γ.	- 22			同種工事の実績あり	10	
lí	記	司種・類似工事の施工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5	
- 11	-			上記以外	0	
Г	Т			80点以上	20	
4	-00			78点以上80点未满	18	
				76点以上78点未满	16	
l'a	织.	工事成績評定点	過去6か年度の工事成績評定点	74点以上76点未满	14	
- 11				72点以上74点未满	12	
				70点以上72点未满	10	
				70点未滿	0	
3	€ 1	「同種・類似工事の施工実績」では、次に	:掲げる工事に該当するものを評価する。			

照任工事 類似工事 ※2「同種・類似工事の施工実績」について、 → 井田企業体の代表者でない構成員としての施工業績は、入札参加資格とは別に、総会評価においては施工業績に含まない。

_		(2)配置予定技術者について				
		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
Г	П			主任 (監理) 技術者として同種工事の従事経験あり	10	
١.	-22		過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代理人としての同種・類	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
1	提り		週去13年間の主任(監理)技術者及び現場代理人としての同種・規 似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
	`\				2	
				上記以外	0	
١.	22			監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
lí	択主	主任(監理)技術者の保有する資格 保有する資格の有無	主任技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	3		
Ľ				上記以外	0	
				100ユニット以上	5	
				80ユニット以上100ユニット未満	4	
4	Ö,	継続学習(CPD)の取組み	CPDの取得単位数	60ユニット以上80ユニット未満	3	
1	ă ,	ALOUTE (O. D.) STANLEY	51 50 A 10 + 12 A	40ユニット以上60ユニット未満	2	
				20ユニット以上40ユニット未満	1	
				20ユニット未満	0	

| 20ユニット未満 乗1 「阿陽・樹紅工事の従事経験」では、上版(1)の※1に掲げる工事に接当するものを評価する。 ※2 「阿陽・原松工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成長としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

_	(3)技術力の継続的な確保について				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
		(銀数・P Q額・水門銀門工事等で工場銀件を終う場合)	市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし	0	
		(全作業務を用いる独上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事で使用	10	
		IN BY VIEW MONTH CONTRACTOR	上記以外	0	
			5		
		所有する法面工事主要機械の使用	上記以外	0	
選択	設備等施工体制	(アスファルト領職工事の場合)	アスファルトブラントが市内にありかつ所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	0 15 10 5	
		アスファルトプラントの有無及び所有するアスファルトフィニッ	アスファルトプラントが市内にあり	10	
		シャの使用	所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	5	
上記以外	上記以外	0			
		(アスファルトが確立でもアスファルトフィニッシャを使用しない場合) アスファルトブラントが市内にあり アスファルトブラントの有無 上記以外	アスファルトプラントが市内にあり	10	
			上記以外	0	
	(工程が部体の場合)		所有する解体用重機を当該工事で使用	5	
		所有する解体用重機の使用	上記以外	0	
選却	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者 (二次以下を含む) が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全てを自ら施工する (対象外工種の下請業者は除く)	5	
			上記以外	0	
1			30歳未満を担当技術者として配置	5	
ë			35歳未満を担当技術者として配置	4	
須	若手技術者等の育成	若手技術者等 (35歳未満) の現場への配置	30歳未満を現場代理人として配置	2	
1			35歳未満を現場代理人として配置	1	
			上記以外	0	

※1「市内下請集者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請集者は対象外とする 対象外工種

(4) 地理的要件

		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
	z.			市内に本店あり	10	
2	8 2	本・支店、営業所の有無	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に支店、営業所あり	5	ľ
3	^			上記以外	0	

_	(3) 松林貝帆収				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
遊		次の①、②いずれも実績あり ① 応急対策表別 ② 災害ポランティア活動の実績	10		
	災害対応等の実績	アイア活動の美模	次の①、②いずれかの実績あり ① 応急対策乗務 ② 災害ポランティア活動の実績	5	
			上記以外	0	
20			5回以上の参加実績あり	5	
38	込 頁 地域貢献活動への参加実績 過去2か		5回未満の参加実績あり	3	
Ľ			参加実績なし	0	

※1「災害対応等の実績」の評価対象期間は、宇和島市の被災規模に応じて設定する。

配点合計 (発注者記載欄) ※ (発注者記載) 各評価項目の配点合計(A) (上記各評価項目満点の合計)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認置います。

得点合計 (自動計算) 各評価項目の得点合計 (B) (上配各評価項目の得点合計)

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

加算点 (自動計算)

入札価格 (自動計算)

加算点(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め) (D) (以下の計算式により算出)

(加算点) = (入札参加者の企業の施工能力の得点合計/企業の施工能力の配点合計) ×2.5点+ (入札参加者の配置予定技術者の得点合計/配置予定技術者の配点合計) ×2.5点 + (入札参加者の技術力の機能的な確保の場合合計/技術力の機能的な確保の配点合計) ×1.5点+ (入札参加者の地理的要件の得点合計/地理的要件の配点合計) ×1.5点 + (入札参加者の地域質験度の得合合計/地域関数度の配合計) ×2.5点

評価値(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め) (以下の計算式により算出)

評価値 (自動計算)

【土木一式工事 (平時) の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者側で入札書の金額に訂正させていただきます。) 入札金額 ←税抜、円単位で記載 八札並領 (税抜、単位:円)

工事名	
商号又は名称	

#### 評 価 項 目 等 (簡易実績型)

#### ※入札者は評価基準に該当する得点を入札者記載欄に記載してください。

(1)企業の施工能力について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
迎护	D# #W=#0#=	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	同種工事の実績あり	10	
	題 同種・類似工事の施工 R 実績		類似工事の実績あり	5	
	大根		上記以外	0	

上記以外 ※1 「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。 ※2 「同種・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(2)配置予定技術者について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
			主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
299	日孫、 新州工事の分事	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
		理人としての同種・類似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
"	124	THE OCUPIE WAS TO KETTER	現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
			上記以外	0	
	- r (###) + # * * *		監理技術者になれる資格 (実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
必須	主任 (監理) 技術者の 保有する資格 保有する資格	主任技術者になれる資格 (実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	3		
		上記以外	0		
			50ユニット以上	5	
			40ユニット以上50ユニット未満	4	
	継続学習(CPD)の	CPDの取得単位数	30ユニット以上40ユニット未満	3	
須	取組み	C P D の 取得単位 数	20ユニット以上30ユニット未満	2	
			10ユニット以上20ユニット未満	1	
			10ユニット未満	0	

※1「同種・類似工事の従事経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該当するものを評価する。
※2「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

(3)技術力の継続的な確保について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
		(銀衛・PC橋・水門復門工事等で工場製作を伴う場合)	市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし	0	
100		(全作業船を用いる海上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事 で使用	10	
選切	設備等施工体制	別有 9 る王15 未加の有無又は使用	上記以外	0	
אני	(工業が土木一家における一般。 掘削系建設機械及びダ 2t以上)の所有の有無	(工種が土木一式における一銀土木の場合)	掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載量2t以上)を所有	5	
		2t以上)の所有の有無	掘削系建設機械を所有	3	
			上記以外	0	
必	災害時の事業継続力	寺の事業継続力 災害時の事業継続計画(BCP)の認定の有無	四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会の認定あり	5	
須			認定なし	0	
選択	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全てを自ら施工する(対象外工種の下請業者は除く)	5	
			上記以外	0	

| 「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。 対象外工種

(4) 地理的要件

		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
Γ		本・支店、営業所の有市	店、営業所の有 市内での本・支店、営業所の所在の有無 市	旧市町内に本店あり	15	
	必			市内に本店あり	10	
	須			市内に支店、営業所あり	5	
L				上記以外	0	

(5)地域貢献度

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
必	災害対応等の実績	実績 過去2か年度の災害ボランティア活動の実績 🕨	災害ボランティア活動の実績あり	10	
須			上記以外	0	
.ix	地域貢献活動への参加 実績 過去2か年度の		5回以上の参加実績あり	5	
須		過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3	
254			参加実績なし	0	

※ (発注者記載) 各評価項目の配点合計 (A) (上記各評価項目満点の合計)

配点合計

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認顧います。

各評価項目の得点合計 (B) (上記各評価項目の得点合計)

得点合計 (白動計算)

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

入札価格(自動計算)

(自動計算)

加算点(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め)(D) (以下の計算式により算出)

評価値(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め) (以下の計算式により算出)

評価値 (自動計算)

(加算点) = (入札者自ら評価した各評価項目の得点合計(B)/各評価項目の配点合計(A))×10点

(評価値)={基礎点(80点)+施工体制確認点(20点)+加算点(D)]/入札価格(C) ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

【土木一式工事以外(平時)の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、人名書の金額と違う場合は、発注者側で入札書の金額に打正させていただきます。) 入札金額 (税抜、単位:円)

→ 税抜、円単位で割 ←税抜、円単位で記載

工事名	
±===#	
商号又は名称	

# 評価項目等 (簡易実績型) ※入札者は評価基準に該当する得点を入札者配載欄に配載してください。

(1)企業の施工能力について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
-92	同種・類似工事の施工 過去15年間の同種・類似工事の施工実績		同種工事の実績あり	10	
担		類似工事の実績あり	5		
D			上記以外	0	

※1 「同様・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。
 「同様工事
 「類似工事
 ※2 「同様・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(2) 和墨系中は歩きについて

	(1) 配置」だ込み目に				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
			主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
398	日廷・頼州工事の従事	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場代	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり	6	
		理人としての同種・類似工事の従事経験	現場代理人として同種工事の従事経験あり	4	
יע	4生 3天	生人としての同性・規模工事の促争社談	現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
			上記以外	0	
	abor (Whaten) their to a		監理技術者になれる資格 (実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	5	
	主任(監理)技術者の 保有する資格 保有する資格	主任技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格を除く。)	3		
			上記以外	0	
			50ユニット以上	5	
			40ユニット以上50ユニット未満	4	
	継続学習(CPD)の	CPDの取得単位数	30ユニット以上40ユニット未満	3	
須	取組み	GPDの取得単位数	20ユニット以上30ユニット未満	2	
			10ユニット以上20ユニット未満	1	1
		5A	10ユニット未満	0	

	(3) 技術力の継続的な確保について						
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)		
		(個債・PC債・水門銀門工事等で工場銀作を伴う場合)	市内にあり	10			
		製作工場の有無	市内になし	0			
		(全作業船を用いる海上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工事 で使用	10			
		IN A 7 ULT FAMILY BANKAGEA	上記以外	0			
		(法国工事主要機能を用いる法国工事の場合)	所有する法面工事主要機械を当該工事で使用	5			
		所有する法面工事主要機械の使用	上記以外	0			
選	設備等施工体制	#等施工体制 (7スファルト機能工事の着金) アスファルトフラントの有無及び所有するアスファルトフラントの有無及び所有するアスファルトフィニッシャの使用 (7ステルト機能工事でアスファルトフィニッシャを表用しない場合)	アスファルトプラントが市内にありかつ所有するアスファルトフィニッシャを 当該工事で使用	15			
選択			アスファルトプラントが市内にあり	10			
			所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	5			
			上記以外	0			
			アスファルトブラントが市内にあり	10			
			上記以外	0			
		(工電が無体の場合)	所有する解体用重機を当該工事で使用	5			
		所有する解体用重機の使用	上記以外	0			
選択	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者 (二次以下を含む) が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全てを自ら施工する (対象外工種の下請業者は除く)	5			
D(			上記以外	0			

※1「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする。

対象外工種

(4) 地理的要件

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
必	本・支店、営業所の有		市内に本店あり	10	
須		同一市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に支店、営業所あり	5	
28	mt .		上記以外	0	

(5) 地域貢献度

		評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
ſ	選、	災害対応等の実績	(二個が是来一共、開教人は首の有日)	災害ボランティア活動の実績あり	10	
択	択	火告対心等の天積	過去2か年度の災害ボランティア活動の実績	上記以外	0	
Γ	dX 4	地域言が活動への会加		5回以上の参加実績あり	5	
ı	活	実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3	
П	×	<b>∼</b> 498		参加実績なし	0	

※(発注者記載) 各評価項目の配点合計(A) (上記各評価項目満点の合計)

得点合計 (自動計算)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認願います。

各評価項目の得点合計 (B) (上配各評価項目の得点合計)

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

加算点(小数第5位以下を切り捨て小数第4位止め)(D) (以下の計算式により算出)

(加算点) = (入札者自ら評価した各評価項目の得点合計(B)/各評価項目の配点合計(A)) × 10点

評価値(自動計算)

評価値(小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (以下の計算式により算出)

(評価値)={基礎点(80点)+施工体制確認点(20点)+加算点(D)}/入札価格(C) ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

【土木一式工事(激甚災害相当時)の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者領で入札書の金額に訂正させていただきます。) 人利金額 (税技、単位:円)

←税抜、単位:円) ←税抜、円単位で記載

工事名
商号又は名称

*	入札者は評価基準	評 価 に <b>該当する得点を入札者記載欄</b> に			
	(1)企業の施工能力	について			
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載相
選択	同種・類似工事の施 工実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	同種工事の実績あり 類似工事の実績あり	10 5	
		┃ 実績   では、次に掲げる工事に該当するものを評値	上記以外	0	
	「同種・類似工事の施工		ョッマ。 員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まな	il.	
	同種工事 類似工事				
г	(2)配置予定技術者				得点
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	(入札者記載相
			主任(監理)技術者として同種工事の従事経験あり	10	
選		過去15年間の主任 (監理) 技術者及び現場 代理人としての同種・類似工事の従事経験	主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり 現場代理人として同種工事の従事経験あり	6 4	
択	事経験	代理人としての同性・規以工事の促事程級	現場代理人として類似工事の従事経験あり	2	
_			上記以外 監理技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格	0	
必	主任(監理)技術者		を除く。)	5	
須	の保有する資格	保有する資格の有無	主任技術者になれる資格(実務経験年数又は大臣認定により取得した資格 を除く。)	3	
_			上記以外	0	
			50ユニット以上 40ユニット以上50ユニット未満	5 4	
必	継続学習(CPD)	CPDの取得単位数	30ユニット以上40ユニット未満	3	
須	の取組み	01 00 取得华国级	20ユニット以上30ユニット未満	2	
			10ユニット以上20ユニット未満 10ユニット未満	0	
		経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該き	当するものを評価する。		
*:	<ul><li>□   同種・類似工事の従事:</li><li>(3)技術力の継続的</li></ul>		表者でない構成員としての従事経験は、入札参加資格とは別に、総合評価においては従 	事経験に含	
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載相
		(集集・PC集・水戸集門工事等で工場製作を伴う場合)	市内にあり	10	
		製作工場の有無	市内になし 当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該	0	
選		(生作最齢を用いる海上工事の場合) 所有する主作業船の有無又は使用	工事で使用	10	
択	) 政領・予能上体制 (工能が土木一式における一般土木の場合)	上記以外	0		
		(工能が土木一式における一級土木の場合) 掘削系建設機械及びダンプトラック(最大積載	掘削系建設機械及びダンプトラック (最大積載量2 t 以上) を所有	5	
		量2t以上)の所有の有無	掘削系建設機械を所有	3	
_			上記以外	0	
必須	災害時の事業継続力	災害時の事業継続計画(BCP)の認定の有無	四国建設業BCP等審査会又はえひめ建設業BCP等審査会の認定あり	5	
~			認定なし	0	
選択	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者 (二次以下を含む) が市内業者である又は元請業者が市内 業者で工事の全てを自ら施工する (対象外工種の下請業者は除く)	5	
×× ·	1 「市内下請業者の活用」	┃ では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外。	上記以外	0	
*	対象外工種	CIAC OCCURS OF BUX BIRNINGS	- 7 0 0		
	<b>対象が工性</b>				
_	(4) 地理的要件				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
-			旧市町内に本店あり	15	(入札者記載相
必	本・支店、営業所の	市内での本・支店、営業所の所在の有無	市内に本店あり	10	
須	有無	市界での本 文冶、名米川の川社の有無	市内に支店、営業所あり	5	
_	l .	l	上記以外	0	
_	(5)地域貢献度				
1	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載相
H			次の①、②いずれも実績あり		八九七日記載作
			① 応急対策業務 ② 災害ボランティア活動の実績	10	
必須	災害対応等の実績	過去 か年度の災害協定等に基づく応急対 策業務及び災害ボランティア活動の実績	【次の①、②いずれかの実績あり	-	
1			<ol> <li>応急対策業務</li> <li>災害ボランティア活動の実績</li> </ol>	5	
L			上記以外 5回以上の参加実績あり	0 5	
必	地域貢献活動への参 加実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回以上の参加実績あり 5回未満の参加実績あり	3	
2#	加大限		参加実績なし	0	
必	(工種が一般土木の場合)		10件以上の契約実績あり	15 10	
必須	災害の復旧工事の契 約実績	過去 か年度の災害の復旧工事の契約実績	5件以上の契約実績あり 2件以上の契約実績あり	5	
			上記以外	0	
*	1「災害対応等の実績」及	び「災害の復旧工事の契約実績」の評価対象期間に			
			※ (発注者記載) 各評価項目の配点合計 (上記各評価項目満点	† (A) (の合計)	配点合計 (発注者記載相
		※以下、評価信箋が自動計管されま	すが、入札者においても確認願います。		得点合計
		のか」く日間間でが、日報日子で105	yが、八代省においても確認願いより。 各評価項目の得点合計	+ (P)	(自動計算)
			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	点合計)	
			入札価格(税抜、単位:億円)		入札価格 (自動計算)
			(例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.0	09255)	l

加算点 (小穀第5位以下を切り捨て小穀第4位止め) (D) (以下の計算式により算出) (加算点) = (入札者自ら評価した各評価項目の得点合計(B)/各評価項目の配点合計(A))×10点

評価値(小数第5位以下を切り拾て小数第4位止め) (以下の計算式により算出)

【土木一式工事以外(激甚災害相当時)の場合】

※入札者は、入札金額(税抜、単位:円)を記載してください。

(ただし、入札書の金額と違う場合は、発注者側で入札書の金額に訂正させていただきます。) 入利金額 (税抜、単位:円) ←税抜、円単位で配載 ←税抜、円単位で記載

工事名	
商号又は名称	

#### 評価項目等 ※入札者は評価基準に該当する得点を入札者記載欄に記載してください。 (簡易実績型)

(1)企業の施工能力について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)		
:88	E # W + # 6 * +		同種工事の実績あり	10			
坦	同性・類似工事の施工 実績	過去15年間の同種・類似工事の施工実績	類似工事の実績あり	5			
1/4	大根		上記以外	0			
* .	※1「同種・類似工事の施工実績」では、次に掲げる工事に該当するものを評価する。						

※1 | 同様・類似上年の池上来朝」では、次に約17の上中に映画するないときが辿りる。 同様工事 ※2 | 同様・類似工事の施工実績」について、共同企業体の代表者でない構成員としての施工実績は、入札参加資格とは別に、総合評価においては施工実績に含まない。

(2) 配置予定技術者について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
選択	同種・類似工事の従事 経験	過去15年間の主任(監理)技術者及び現場 代理人としての同種・類似工事の従事経験	注任(監理)技術者として回程工事の従事経験あり     主任(監理)技術者として類似工事の従事経験あり     現場代理人として同種工事の従事経験あり     現場代理人として関極工事の従事経験あり     上記以外	10 6 4 2	
必須	主任 (監理) 技術者の 保有する資格	保有する資格の有無	<u> </u>	5 3 0	
必須	継続学習(CPD)の 取組み		50ユニット以上 40ユニット以上50ユニット未満 30ユニット以上50ユニット未満 20ユニット以上30ユニット未満 10ユニット以上20ユニット未満 10ユニット以上20ユニット未満	5 4 3 2 1	

■ 10ユニット 来通 ※1「同種・類似工事の従事経験」では、上記(1)の※1に掲げる工事に該当するものを辞価する。 ※2「同種・類似工事の従事経験」について、担当技術者及び共同企業体の代表者でない構成員としての従事経験は、入札参加責格とは別に、総合評価においては従事経験に含まない。

(2) 甘振力の維結的な確保について

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
		(開鎖・PC額・水円銀門工事等で工場銀作を伴う場合) 製作工場の有無	市内にあり	10 0	
		(主作業能を用いる第上工事の場合)	市内になし 当該工事に要する能力以上の主作業船を所有又は所有する主作業船を当該工 事で使用	10	
		所有する主作業船の有無又は使用	上記以外	0	
		(法国工事主要機能を用いる法国工事の場合)	所有する法面工事主要機械を当該工事で使用	5	
		所有する法面工事主要機械の使用	上記以外	0	
歪	アスファル アスファル (アスファル		アスファルトプラントが市内にありかつ所有するアスファルトフィニッシャ を当該工事で使用	15	
択		アスファルトフラントの有無及の所有する	アスファルトプラントが市内にあり	10	
			所有するアスファルトフィニッシャを当該工事で使用	5	
			上記以外	0	
		(アスファルト競技工事でアスファルトフィニッシャを使用 Lない場合)	アスファルトプラントが市内にあり	10	
		アスファルトプラントの有無	上記以外	0	1
		(工業が保体の場合)	所有する解体用重機を当該工事で使用	5	
		所有する解体用重機の使用	上記以外	0	
選切	市内下請業者の活用	全ての下請を含む施工体制の計画	全ての下請業者(二次以下を含む)が市内業者である又は元請業者が市内業者で工事の全てを自ら施工する(対象外工程の下請業者は除く)	5	
200			上記以外	0	

※1「市内下請業者の活用」では、次に掲げる工種に関する下請業者は対象外とする

対象外工種 (4) 物理的悪性

	(4) 地理的委件				
	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
5	* + + t	同一市内での本・支店、営業所の所在の有	市内に本店あり	10	
	〉本・支店、営業所の有 ■ 無	同一市内での本・支店、呂未所の所任の有 毎	市内に支店、営業所あり	5	
13	2 Mt	***	上記以外	0	

	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点 (入札者記載欄)
選		(工種が強集一式、舗装又は管の場合)	次の①、②いずれも実績あり ① 応急対策業務 ② 災害ボランティア活動の実績	10	
択		過去 か年度の災害協定等に基づく応急対 策業務及び災害ボランティア活動の実績	次の①、②いずれかの実績あり ① 応急対策業務 ② 災害ボランティア活動の実績	5	
			上記以外	0	
ıλ	地域言が活動への参加		5回以上の参加実績あり	5	
酒	実績	過去2か年度の地域貢献活動への参加実績	5回未満の参加実績あり	3	
200	大根		参加実績なし	0	

※1「災害対応等の実績」の評価対象期間は、宇和島市の被災規模に応じて設定する。

配点合計 (発注者記載欄) ※(発注者記載) 各評価項目の配点合計(A) (上記各評価項目満点の合計)

※以下、評価値等が自動計算されますが、入札者においても確認顧います。

各評価項目の得点合計 (B) (上配各評価項目の得点合計)

得点合計 (自動計算)

入札価格(税抜、単位:億円) (C) (例 入札価格(税抜)が925万5千円の場合 0.09255)

入札価格

加算点(小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (D) (以下の計算式により算出)

(加算点) = (入札者自ら評価した各評価項目の得点合計(B) /各評価項目の配点合計(A)) × 10点

評価値(小教第5位以下を切り捨て小教第4位止め) (以下の計算式により算出)

評価値 自動計算

(評価値)={基礎点(80点)+施工体制確認点(20点)+加算点(D)}/入札価格(C) ただし、施工体制確認点については、低入札となった場合は、別途評価する。

(様式 11) (用紙 A 4)

年 月 日

宇和島市長様

商号又は名称 代表者氏名

評価値の疑義について (照会)標記のことについて、次のとおり照会します。

記

- 1 疑義の対象となる工事名等 工事名 開札日
- 2 疑義のある事項
- 3 回答先 住所 商号又は名称 氏名 電話番号及びFAX番号

(様式 12) (用紙A4)

年 月 日

様

宇和島市長

評価値の疑義について (回答)

年 月 日付けで疑義があった件について、次のとおり回答 します。

記

- 1 疑義の対象となる工事名等 工事名 開札日
- 2 回答内容
  - ※疑義があった内容を認め、評価値算出表を修正します。
  - ※疑義があった内容については、次の理由のとおりです。
- 3 評価値算出表の公表 修正後の評価値算出表については、 年 月 日に入札情報公開システムで公表します。